

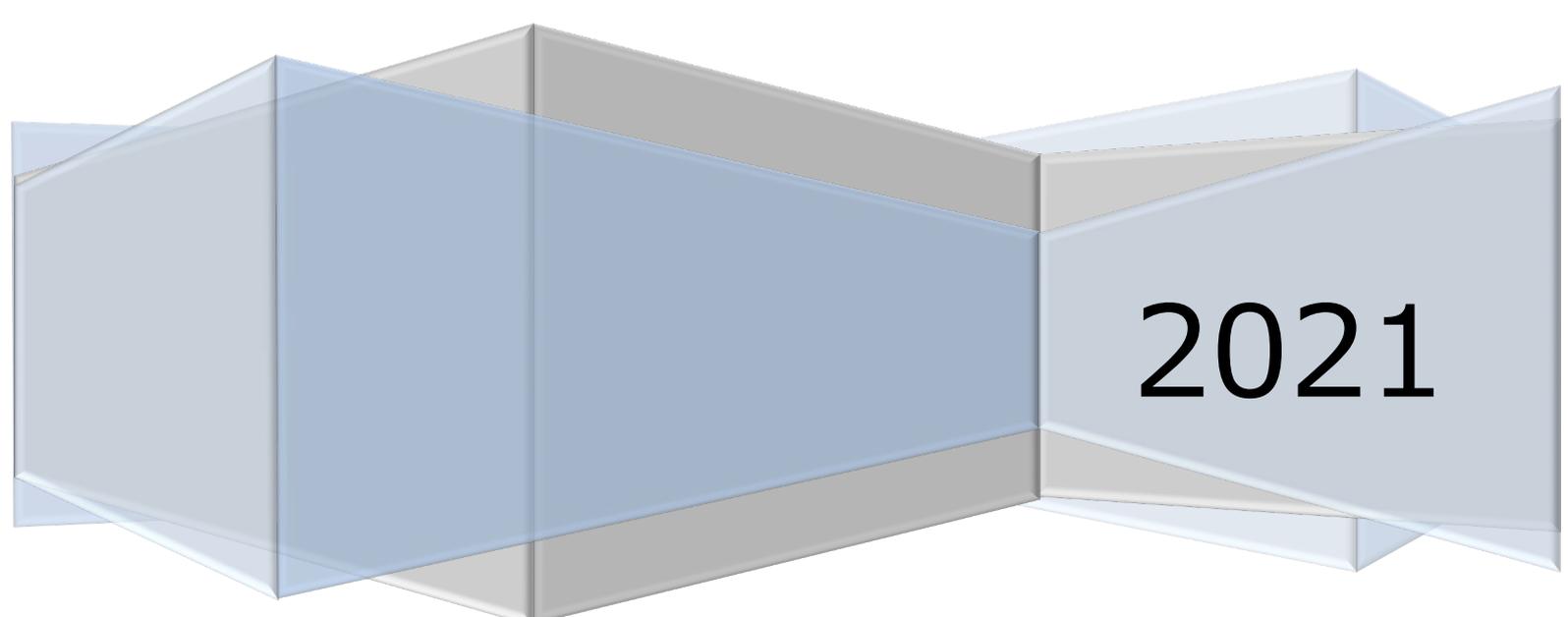
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－ 教養教育 －

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2021

目次

2021年度医歯学融合教育（教養教育）	1
教養教育	2
生命科学基礎	3
生命科学基礎（化学A）	4
生命科学基礎（化学B）	6
生命科学基礎（生物A）	8
生命科学基礎（生物B）	10
主題別教育（医学科・歯学科）について	12
主題別選択Ⅰ・Ⅱ	17
主題別選択Ⅰ（フランス文学を読む）	18
主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）	20
主題別選択Ⅰ（環境への適応）	22
主題別選択Ⅰ（物理数学演習）	24
主題別選択Ⅰ（食品の科学）	25
主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）	27
主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）	29
主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）	31
主題別選択Ⅰ（医療の社会学）	33
主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）	35
主題別選択Ⅰ（現代社会と時間）	37
主題別選択Ⅰ（ドロマロジーと人間）	39
主題別選択Ⅰ（植物の科学）	41
主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）	43
主題別選択Ⅰ（昆虫にみられる社会性の進化）	45
主題別選択Ⅰ（昆虫の社会性の維持機構）	47
主題別選択Ⅰ（中国語と中国文化）	49
主題別選択Ⅰ（中国社会の現在）	51
主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）	53
主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）	54
主題別選択Ⅰ（危険物の科学）	56
主題別選択Ⅰ（老化と寿命）	58
主題別選択Ⅰ（日本とドイツの思想：入門）	60
主題別選択Ⅰ（ <i>Leben und Werke</i> を読む）	63
主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）	66
主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	68
主題別選択Ⅰ（医歯系のための物理）	70
主題別選択Ⅰ（人体・医療の物理）	72
主題別選択Ⅰ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	74
主題別選択Ⅰ（Understanding Language and Society）	76
主題別選択Ⅰ（小説の言語と演劇の言語）	78
主題別選択Ⅰ（ネイションとマイノリティの関係史）	80
主題別選択Ⅰ（発がんと確率過程）	82
主題別選択Ⅰ（視覚情報と言語）	83
主題別選択Ⅰ（ジェノサイドの論理と心理）	85
主題別選択Ⅰ（数理で理解する発がん）	87
主題別選択Ⅱ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	88
主題別選択Ⅱ（Understanding Language and Society）	90
主題別選択Ⅱ（フランス文学を読む）	92

主題別選択Ⅱ（科学と疑似科学の境界）	94
主題別選択Ⅱ（環境への適応）	96
主題別選択Ⅱ（物理数学演習）	98
主題別選択Ⅱ（食品の科学）	99
主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）	101
主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）	103
主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）	105
主題別選択Ⅱ（医療の社会学）	107
主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）	109
主題別選択Ⅱ（植物の科学）	111
主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）	113
主題別選択Ⅱ（現代社会と時間）	115
主題別選択Ⅱ（ドロマロジーと人間）	117
主題別選択Ⅱ（昆虫にみられる社会性の進化）	119
主題別選択Ⅱ（昆虫の社会性の維持機構）	121
主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）	123
主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）	124
主題別選択Ⅱ（危険物の科学）	126
主題別選択Ⅱ（老化と寿命）	128
主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）	130
主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	132
主題別選択Ⅱ（中国語と中国文化）	134
主題別選択Ⅱ（中国社会の現在）	136
主題別選択Ⅱ（医歯系のための物理）	138
主題別選択Ⅱ（人体・医療の物理）	140
主題別選択Ⅱ（日本とドイツの思想：入門）	142
主題別選択Ⅱ（ <i>Leben und Werke</i> を読む）	145
主題別選択Ⅱ（小説の言語と演劇の言語）	148
主題別選択Ⅱ（ネーションとマイノリティの関係史）	150
主題別選択Ⅱ（発がんと確率過程）	152
主題別選択Ⅱ（視覚情報と言語）	153
主題別選択Ⅱ（ジェノサイドの論理と心理）	155
主題別選択Ⅱ（数理解する発がん）	157
主題別人文社会科学セミナー・講義	158
医学科・歯学科（3年生）：主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール	159
人文社会科学講義（医療と社会）	160
人文社会科学講義（医療と法）	162
主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）	164
主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）	166
主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）	168
主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）	171
主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）	173
東京医科歯科大学全学共通科目履修規則	177

2021年度医歯学融合教育(教養教育)

● 医学科・歯学科(2年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)			
4月8日	木	1	生命科学基礎(生物) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom				
4月15日	木	2						
4月22日	木	3						
5月6日	木	4						
5月13日	木	5						
5月20日	木	6						
5月27日	木	7						
6月3日	木	8						
6月10日	木	9						
6月17日	木	10						
6月24日	木	11						
7月1日	木	12						
7月8日	木	13						
7月15日	木	14						
8月26日	木	予備	生命科学基礎(生物)	主題別選択Ⅰ(予備日)				
9月2日	木	15	生命科学基礎(生物)	主題別選択Ⅰ(後半)				
9月9日	木	予備		対面試験	対面試験			
9月16日	木	予備	生命科学基礎(生物・予備日)					
9月30日	木	1	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom					
10月7日	木	2						
10月14日	木	3						
10月21日	木	4						
10月28日	木	5				※追悼式		
11月4日	木	6						
11月11日	木	7						
11月18日	木	8						
11月25日	木	9						
12月2日	木	10						
12月9日	木	11				※11/18、1/13はオンデマンド		
12月16日	木	12						
12月23日	木	13						
1月13日	木	14						
1月20日	木	15						
1月27日	木	16						
2月3日	木	予備	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) 予備日					
2月10日	木	予備		対面試験	対面試験			
2月17日	木	予備		対面試験	対面試験			

● 医学科・歯学科(3年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)
4月8日	木	1		主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	主題別人文社会科学セミナー (前期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom
4月15日	木	2			
4月22日	木	3			
5月6日	木	4			
5月13日	木	5			
5月20日	木	6			
5月27日	木	7			
6月3日	木	8			
6月10日	木	9			
6月17日	木	10			
6月24日	木	11			
7月1日	木	12			
7月8日	木	13			
7月15日	木	14			
8月26日	木	予備		※6/17はオンデマンド 主題別選択Ⅱ(後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	※6/17はオンデマンド 主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom
9月2日	木	15		主題別選択Ⅱ(予備日)	主題別人文社会科学セミナー (予備日)
9月9日	木	予備		主題別選択Ⅱ(後半)	主題別人文社会科学セミナー
9月30日	木	1			主題別人文社会科学セミナー (後期:前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom
10月7日	木	2			
10月14日	木	3			
10月21日	木	4			
10月28日	木	5			
11月4日	木	6			
11月11日	木	7			
11月18日	木	8			
11月25日	木	9			
12月2日	木	10			
12月9日	木	11			
12月16日	木	12			
12月23日	木	13			
1月13日	木	14			
1月20日	木	15			
1月27日	木	16			
2月3日	木	予備		※11/25はオンデマンド 主題別人文社会科学セミナー (後期:後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	主題別人文社会科学セミナー (予備日)
2月10日	木	予備			
2月17日	木	予備			

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2年次と3年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1) 生命科学基礎（生物学・化学）

1年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学の内容を補うとともに、生命科学に関するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2) 主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点の中から各自が1つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3) 主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000501			
科目名	生命科学基礎(化学 A)	科目 ID	LA-210401-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 				
主な講義場所				
医学科講義室 1、共用講義室 2				
授業の目的、概要等				
1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関するトピックを取り上げるにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。				
授業の到達目標				
生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。 試験時の問題演習を通して、7割程度の理解ができていれば、GPA における「B」に相当する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
2	10/7	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
3	10/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
4	10/21	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
5	11/4	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
6	11/11	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
7	11/18	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
8	11/25	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
9	12/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
10	12/9	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
11	12/16	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
12	12/23	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
13	1/13	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
14	1/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
15	1/27	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子
授業方法				
主に講義形式で授業を行いますが、適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。				
授業内容				
第1週から第10週はクラス分けなしで生命科学に関する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。				
成績評価の方法				
評価: 試験 100% ・レポート0%				
その他(授業中の回答状況等も考慮される。)				
再評価: 有 再試験				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				

準備学習等についての具体的な指示

予習: 授業で行う項目について、講義資料(WebClassに掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。

復習: 授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。

試験の受験資格

定期試験(考査)・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席

教科書

生体分子化学/秋久俊博, 長田洋子 編, 秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著, 共立出版, 2008

反応速度論/真船文隆, 廣川淳著, 真船, 文隆, 廣川, 淳, 裳華房, 2017

参考書

マクマリー有機化学(下)/JOHN McMURRY/著, 伊東椒/訳者代表, 児玉三明/訳者代表, McMurry, John, 伊東 || 椒, 児玉: 東京化学同人, 2017

アトキンス生命科学のための物理化学/Peter Atkins, Julio de Paula 著, 稲葉章, 中川敦史 訳, 東京化学同人, 2008

ライフサイエンス系の高分子化学 新版/宮下 徳治 (編著): 三共出版, 2010

数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために/齋藤勝裕著, 齋藤, 勝裕, 化学同人, 2009

一般化学/Jerome L. Rosenberg, Lawrence M. Epstein 共著, 一國雅巳 訳, Rosenberg, Jerome Laib, Epstein, Lawrence M, 一國, 雅巳, 1930-, オーム社, 1995

履修上の注意事項

生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では化学、後期の定期試験では生物学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之: nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000502																																																																																		
科目名	生命科学基礎(化学B)	科目ID	LA-210402-Z																																																																																
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行 [NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																																																		
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2																																																																																
実務経験のある 教員による授業																																																																																			
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																			
主な講義場所 共用講義室 2、医学科講義室 1																																																																																			
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。																																																																																			
授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。 試験時の問題演習を通して、7割程度の理解ができていれば、GPAにおける「B」に相当する。																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/30</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/7</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/14</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/21</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/23</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>09:00-09:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/30	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	2	10/7	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3	10/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	4	10/21	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	5	11/4	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	6	11/11	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	7	11/18	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	8	11/25	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	9	12/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	10	12/9	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	11	12/16	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	12	12/23	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	13	1/13	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	14	1/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	15	1/27	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/30	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
2	10/7	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
3	10/14	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
4	10/21	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
5	11/4	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
6	11/11	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
7	11/18	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
8	11/25	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
9	12/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
10	12/9	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
11	12/16	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
12	12/23	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
13	1/13	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
14	1/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
15	1/27	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																															
授業方法 主に講義形式で授業を行います。適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。																																																																																			
授業内容 第1週から第10週はクラス別なしで生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。																																																																																			
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験																																																																																			
成績評価の基準																																																																																			

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習: 授業で行う項目について、講義資料(WebClass に掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習: 授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編, 秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著, : 共立出版, 2008 反応速度論／真船文隆, 廣川淳著, 真船, 文隆, 廣川, 淳, : 裳華房, 2017
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY／著, 伊東椒／訳者代表, 児玉三明／訳者代表, McMurry, John, 伊東 椒, 児玉: 東京化学同人, 2017 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著, 稲葉章, 中川敦史 訳, : 東京化学同人, 2008 ライフサイエンス系の高分子化学 新版／宮下 徳治 (編著): 三共出版, 2010 数学いらずの化学反応論 : 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕著, 齋藤, 勝裕, : 化学同人, 2009 一般化学／Jerome L. Rosenberg, Lawrence M. Epstein 共著, 一國雅巳 訳, Rosenberg, Jerome Laib, Epstein, Lawrence M., 一國, 雅巳, 1930-, : オーム社, 1995
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では化学、後期の定期試験では生物学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先(メールアドレス) 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000505			
科目名	生命科学基礎(生物 A)	科目 ID	LA-210403-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜 1 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎 学力・思考力を身につける。 				
主な講義場所				
3 号館、医学科講義室 1				
授業の目的、概要等				
1 年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標				
1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
2) 生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
2	4/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
3	4/22	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
4	5/6	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
5	5/13	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
6	5/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
7	5/27	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
8	6/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
9	6/10	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
10	6/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
11	6/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
12	7/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
13	7/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
14	7/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
15	9/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式による。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。次の講義においてこの問題点に対する答えを教員が説明する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容				
生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。				
成績評価の方法				

<p>評価:試験による。生物学と化学の総合的評価による。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学の試験を行う。</p> <p>試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。</p> <p>再評価:有</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>アクティブラーニングとして、知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。質問があればアクションペーパーに記入すること。次週の授業で教員が質問に答える。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>必要に応じて参考資料を配布する。</p>
<p>参考書</p> <p>時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著,:裳華房, 2003</p> <p>よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,:羊土社, 2016</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000506			
科目名	生命科学基礎(生物B)	科目ID	LA-210404-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]			
開講時期	2021年度通年	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学 力・思考力を身につける 				
授業の目的、概要等				
1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げるにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標				
1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックス(特に時間生物学)について理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について自学自習を行い、理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
2	4/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
3	4/22	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
4	5/6	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
5	5/13	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
6	5/20	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
7	5/27	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
8	6/3	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
9	6/10	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
10	6/17	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
11	6/24	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
12	7/1	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
13	7/8	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
14	7/15	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
15	9/2	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦
授業方法				
講義と一部グループワークや演習形式による。				
授業内容				
生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間医療科学とは 2. 生体が示すリズム(自由継続リズム) 3. サーカディアンクロックの性質 4. サーカディアンクロックの存在部位 5. 時計の存在部位の証明実験 				

<p>6.時計遺伝子 1 7.時計遺伝子 2 8.体内時計からの出力系 9.メラトニン 10.概日リズム障害 11.フリーラジカルと活性酸素 12.フリーラジカルが関与する疾患 13.抗酸化物質 14.抗酸化酵素 15.まとめ</p>
<p>成績評価の方法 評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験: 90%、授業内でのグループワークや演習への貢献度、質問への回答等: 10% 生物学と化学の各試験の成績を元に総合評価を行う。前期は生物学の試験、後期は化学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。</p>
<p>教科書 適宜関連するプリントを配布する。</p>
<p>参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003</p>
<p>連絡先(メールアドレス) ahattori.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)</p>

主題別教育（医学科・歯学科）について

【目的】

2020年度、これまでとは違う日常の中で、皆さんの中には「自分とは何か」という問いに向き合った方も少なくないのでしょうか。自分とはどのような人間なのか、何をしてどのように生きてきたのか、何が好きで何をしたいのか。また、今後どのように行きたいのか。さらに、このコロナ禍が私たちの生活を一変させたのは、家族に始まり学校に続く「集合体」、つまり「密」を形成して生活してきた人類の歩み自体を覆すものだったからでしょう。

しかし、人類の歩みは、この「人間とは何か」という疑問の連続であったのかもしれませんが。偉大な先人達は、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

東京医科歯科大学では、「主題別教育」という科目において、皆さんにこの「人間」という存在について、学び思考し、また自分の知見をまとめる授業をもうけています。人間を生物的また社会的存在たらしめている要素を、「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点にし、そこから考えてみようという取り組みです。

1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します

セミナー修了時に、皆さん自身が、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになることが目的です。もちろん、それは三年間もしくはこれまでの人生における段階的な「結論」であり、絶対ではないはずです。皆さんは今後の人生で学びを深め、また問題を与えられるたび、「人間とは何か」という疑問を持ち続けるでしょう。換言すれば、人間というものに向き合わざるを得ない職業に就かれる皆さんが、その問いを描かなくなった時、皆さんの歩みも学びも終わるのかもしれませんが。

その問いへの「結論」は段階や状況によって変わるでしょう。しかし、自らの疑問に向き合い、考え、調べ、学び、時に意見を交換し、結論を導くという「方法」をこの授業で身につけた人は、その各段階において、思索を深め、さらに「新たな問い」に向き合うことに楽しさや充実感を覚えるはずです。

この「喜び」は、将来、「人間」そのものを職業とする医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間	生命と人間	言語と人間	制度と人間	時間と人間
-------	-------	-------	-------	-------

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つを選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定するのは、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」をし、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1年生：基盤の形成

必修科目・必修選択科目・自由選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、ある学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということ学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1年生は、3年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」が設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

各主題に関連の深い科目は次の通りです。授業内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	歴史学、文学、社会学、文化人類学、人文社会科学特論
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	哲学、文学、文化人類学、人文社会科学特論
時間と人間	歴史学、社会学、社会思想史
制度と人間	法学、政治学、人文社会科学特論

2・3年生前期：主題別選択科目—視点の拡充—

2・3年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50分間の授業が7回行われ、2年生と3年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講される予定です。

2年前期と3年前期の前半7回、後半8回にそれぞれ1科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から2科目以上を履修することが必要です。

ただし、2年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を2回以上選択することはできません。前半7回と後半8回、合計2科目を履修して、1単位取得となります。

(例)「言語と人間」を選択した学生

→2年前期の前半7回「フランス文学を読む」履修

〃 後半8回「人体・医療の物理」履修

(この2科目で1単位取得)

主題	主題別選択科目 (2021年度開講予定)	
	2年生の前期前半7回 (50分×7回)	2年生の前期後半8回 (50分×8回)
文化と人間	小説の言語と演劇の言語(木谷) 現代社会と時間(飯田) フランス文学を読む(中島) 日本とドイツの思想：入門(シンチンガー) 中国語と中国文化(包) 医歯系のための物理(檜枝) 物理数学演習(越野) 科学と疑似科学の境界(奈良) 食品の科学(澤野) 愛という名の欲望(チャンネル)	視覚情報と言語(木谷) ドロマロジーと人間(飯田) 民主主義を再考する(藤井) フランス詩を読む(中島) Leben und Werke を読む(シンチンガー) 中国社会の現在(包) タンパク質科学の光と影(奈良)
生命と人間	医療の社会学(藤井) 発がん確率過程(中林) 医歯系のための物理(檜枝)	ジェノサイドの論理と心理(相馬) 数理で理解する発がん(中林) 人体・医療の物理(檜枝)

	物理数学演習 (越野) 食品の科学 (澤野) 生物の中の糖 (勝又) 宇宙と生命 (服部) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (時本) 昆虫に見られる社会性の進化 (山崎) 生命科学と技術 (仁科他)	タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (澤野) 老化と寿命 (服部) 環境への適応 (伊藤) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) 昆虫の社会性の維持機構 (山崎) 生命科学と医学 (仁科他)
言語と人間	ネイションとマイノリティの関係史 (相馬) フランス文学を読む (中島) 日本とドイツの思想：入門 (シンチ) 中国語と中国文化 (包) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (時本)	ジェノサイドの論理と心理 (相馬) 民主主義を再考する (藤井) フランス詩を読む (中島) Leben und Werke を読む (シンチ) 中国社会の現在 (包) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) 言語と社会を把握する (チャンネル)
制度と人間	ネイションとマイノリティの関係史 (相馬) 現代社会と時間 (飯田) 医療の社会学 (藤井) 日本とドイツの思想：入門 (シンチ) 科学と疑似科学の境界 (奈良) 昆虫に見られる社会性の進化 (山崎)	ジェノサイドの論理と心理 (相馬) ドロモロジーと人間(飯田) 民主主義を再考する (藤井) Leben und Werke を読む (シンチ) 中国社会の現在 (包) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 危険物の科学 (勝又) 昆虫の社会性の維持機構 (山崎)
時間と人間	ネイションとマイノリティの関係史 (相馬) 医療の社会学 (藤井) フランス文学を読む (中島) 日本とドイツの思想：入門 (シンチ) 発がん確率過程 (中林) 医歯系のための物理 (檜枝) 食品の科学 (澤野) 宇宙と生命 (服部)	ジェノサイドの論理と心理 (相馬) 民主主義を再考する (藤井) フランス詩を読む (中島) Leben und Werke を読む (シンチ) 数理解理解する発がん (中林) 微分方程式演習 (越野) タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (澤野) 老化と寿命 (服部) 環境への適応 (伊藤)

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間に取り組むべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年生：主題別人文社会科学セミナー—思考の深化—

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」の教員が担当する予定です。

セミナーと並行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に開講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、改善点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」がこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4月8日（木）：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4月8日（木）～11月18日（木）：セミナーと講義

11月25日（木）～2022年1月27日（木）：総括セミナー

2月10日（木）：提出締切（予定）

【今後の予定】

2年生 4月～9月 「主題別選択Ⅰ」受講

3年生 4月～9月 「主題別選択Ⅱ」受講

4月～3月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ1単位。

原則としてレポート（80点）、授業への参加度（20点）で評価。

（筆記試験で評価する場合に、その旨を周知する。）

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて2単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート（80点）、授業への参加度（20点）で評価。

主題別選択 I・II

時間割番号	000603					
科目名	主題別選択 I (フランス文学を読む)	科目 ID	LA-210509-Z			
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある 教員による授業						
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7) 人間の心への理解を深める</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>16 世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいきます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。</p>						
授業の到達目標						
<p>1) フランス文学のニュアンス・表現を味わう。</p> <p>2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。</p> <p>3) 文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション 社会と文学	概説 スタンダール、 バルザック	中島 ひかる
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	モラリスト文学	パスカル、モンテーニュ	中島 ひかる
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス古典劇	モリエール、ラシーヌ	中島 ひかる
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	書簡体文学	ラクロ	中島 ひかる
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	自伝文学	ルソー	中島 ひかる
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時間の表現	ブルースト	中島 ひかる
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	現代文学・批評	カミュ・バルト	中島 ひかる
授業方法						
講義と演習による。						
毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。作品に目を通して感想を述べていただいた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。その後、はじめの感じ方とどう変わったか受講者の間で意見交換を行います。						
授業内容						
7 回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。						
1) スタンダール、バルザック(19 世紀の社会と小説)						
2) パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学)						
3) モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇)						
4) ラクロ(書簡体文学)						
5) ルソー(自伝文学)						
6) ブルースト(時間の表現)						

7)カミュ・バルト(現代文学)
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価:有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)
フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。授業中に発言を求めますので、それについても20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析したレポートを高く評価します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 プリントを配付する(PDFでメールアドレス宛に配信します)。
参考書 危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／プルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ
履修上の注意事項 Zoomはオンにして授業に出席して下さい。
連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:月曜 12:00～13:00 *メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000604																																										
科目名	主題別選択 I (科学と疑似科学の境界)	科目 ID	LA-210521-Z																																								
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>巷には「マイナスイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>授業の関連したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める。</p> <p>2000 字以上のレポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート80%</p> <p>その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。</p> <p>復習: 興味のある項目について、文献を調べてください。</p>																																											

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

教科書

なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人:PHP 新書, 2016

参考書

嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著,:文藝春秋, 2014

メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著,:名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010

科学と人間の不協和音／池内了 [著]:,角川書店, 2012

活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修,:丸善

博士漂流時代 : 「余った博士」はどうか?／榎木英介 [著]:,ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010

水素水とサビない身体／太田成男 著,:小学館, 2013

疑似科学入門／池内 了 著,:岩波書店

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000605			
科目名	主題別選択 I (環境への適応)	科目 ID	LA-210530-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>				
授業の目的、概要等				
<p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>				
授業の到達目標				
<p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
授業方法				
<p>基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>				
授業内容				
<p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: 試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>アクティブラーニングとして、予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、</p>				

<p>研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書 資料を配布する。</p>
<p>参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005 はじめの一歩のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編,:羊土社, 2012</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000606			
科目名	主題別選択 I (物理数学演習)	科目 ID	LA-210519-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をととして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が 7 割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000611				
科目名	主題別選択 I (食品の科学)	科目 ID	LA-210523-Z		
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2		
実務経験のある教員による授業					
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p>					
授業の目的、概要等					
<p>食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、PBL や課題発表を行い、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション、食の歴史(1)	澤野 頼子
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食の歴史(2)	澤野 頼子
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食の歴史(3)	澤野 頼子
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食品成分の化学的性質(1)	澤野 頼子
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食品成分の化学的性質(2)	澤野 頼子
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	PBL	澤野 頼子
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野 頼子
授業方法					
主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容					
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。					
成績評価の方法					
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25%					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格					
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書					
食品の科学/上野川修一, 田之倉優 編.:東京化学同人, 2005 食品学:食品成分と機能性/久保田紀久枝, 森光康次郎 編.久保田, 紀久枝, 1948-.森光, 康次郎, 1963-.:東京化学同人, 2016					

ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著, 鮫島, 邦彦, 1938-, 高橋, 史生, : 三共出版, 2005

健康と食生活／吉田勉 編著, 吉田, 勉, 1927-, : 学文社, 2016

パソコンで学ぶ食品化学 : 目で見える食品成分とその変化／高野克己, 渡部俊弘編著, 高野, 克己, 渡部, 俊弘, : 三共出版, 2005

健康と調理のサイエンス : 調理科学と健康の接点／大越ひろ, 品川弘子 編著, 渡辺敦子, 大須賀彰子, 藤井恵子, 高橋智子, 飯田文子 著, : 学文社, 2017

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000612																																																										
科目名	主題別選択 I (生物の中の糖)	科目 ID	LA-210525-Z																																																								
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																																								
実務経験のある教員による授業																																																											
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、各自がプレゼンテーションを行ってもらう(アクティブラーニング)。</p>																																																											
<p>授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につけ、レポート、プレゼンテーションにまとめられる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖について</td> <td>糖についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖の生合成</td> <td>糖の生合成についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖と生物</td> <td>糖と生物についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖と疾病</td> <td>糖と疾病についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション1</td> <td>学生による課題発表</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション2</td> <td>学生による課題発表</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション3</td> <td>学生による課題発表</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖について	糖についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖の生合成	糖の生合成についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と生物	糖と生物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と疾病	糖と疾病についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション1	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション2	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション3	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖について	糖についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖の生合成	糖の生合成についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と生物	糖と生物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と疾病	糖と疾病についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション1	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション2	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション3	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
<p>授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 糖とは何か 糖の種類、および構造、性質 糖の分析法 植物における糖 人の中の糖1 人の中の糖2 糖と疾病 																																																											
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。</p>																																																											
<p>成績評価の基準</p>																																																											

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義に興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編], 鈴木康夫, 木全弘治 監訳, :丸善, 2010

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000613																																										
科目名	主題別選択 I (宇宙と生命)	科目 ID	LA-210527-Z																																								
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本人宇宙飛行士が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらおう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックス(特に宇宙生物学)について理解し、説明することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらおう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>国際宇宙ステーションと宇宙環境と生物(概論)</p> <p>無(微小)重力がもたらす脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす無脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす植物への影響</p> <p>重力感受機構</p> <p>宇宙放射線</p> <p>宇宙放射線の生物への影響</p> <p>宇宙医学</p> <p>宇宙医学が地上の医学にもたらすもの</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。</p>																																											

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000614																																										
科目名	主題別選択 I (生物間のコミュニケーション)	科目 ID	LA-210529-Z																																								
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業	<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																										
授業の目的、概要等	<p>この授業の目的は次の1)～4)である。</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。</p> <p>2)この分野における研究の現状を理解する。</p> <p>3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。</p>																																										
授業の到達目標	<p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。</p> <p>2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。</p>																																										
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>			回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
授業方法	<p>講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。自身でテーマを見つけ、レポートを作成する。</p>																																										
授業内容	<p>ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>																																										
成績評価の方法	<p>評価: 試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価: 有</p>																																										
成績評価の基準	<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>																																										
準備学習等についての具体的な指示																																											

<p>予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書 必要に応じて参考資料を配布する</p>
<p>参考書 脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010 はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12 行動の神経生物学／ギュンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000615																																										
科目名	主題別選択 I (医療の社会学)	科目 ID	LA-210531-Z																																								
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 この授業では、テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との間の根深く暗い関係を優生思想の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生思想の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生思想と障害者問題にも焦点を当てる予定です。</p>																																											
<p>授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学からの考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																											
<p>授業内容 第 1 回 医療が描く理想社会——民族衛生から SDH、そして COVID-19 へ 第 2 回 医療と優生思想 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生思想とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者——戦後の障害者政策と障害者運動 第 7 回 「青い芝の会」と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。</p>																																											
<p>教科書 教科書は使用しません。</p>																																											

参考書

ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974年)

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008年)

ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018年)

マイケル・マーモット『健康格差』(日本評論社、2017年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000616																																										
科目名	主題別選択 I (ヒトの脳と言語)	科目 ID	LA-210533-Z																																								
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜・2限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科:医・歯学科</p> <p>募集人数:30人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を深める。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ヒトに特有の機能とされる言語。なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。講義では言語の機能および言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と脳神経系の発達から臨界期仮説を解説します。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。</p> <p>(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p> <p>(3) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>基本的に講義形式で行う。毎回の授業の初めにリアクションペーパーを利用した質疑や討論も予定している。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>4月8日 言語とは</p> <p>4月15日 言語の研究法</p> <p>4月22日 言語獲得と脳</p> <p>5月6日 言語獲得の臨界期</p> <p>5月13日 言語の神経基盤</p> <p>5月20日 言語の神経基盤(2)</p> <p>5月27日 言語の生物学的起源</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他(リアクションペーパー) 30 %</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習は特に求めませんが、授業の理解が難しい場合は、適宜紹介する参考文献で復習してください。また、講義後に疑問点やコメントを書いて頂くリアクションペーパーをもとに解説や議論を行います。</p>																																											

教科書

指定しない

参考書

「カンデル神経科学 第5版」金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014.

「あいまいな会話はなぜ成立するのか」時本真吾, 岩波書店, 2020. その他、抗議中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の2/3以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000617																																										
科目名	主題別選択 I (現代社会と時間)	科目 ID	LA-210541-Z																																								
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間： 木曜 2 限</p> <p>医学科・歯学科</p> <p>募集人数：10 名以内</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ドイツの児童文学作家ミヒャエル・エンデの『モモ』に登場する「灰色の男たち」(時間泥棒)は、つぎのように語る。「人間の時間を手中に収めれば、無限の権力を握ることができる」と。だが、時間はどのような意味で権力と言えるのだろうか。また、私たちは毎日のように時間に追われる生活を送っているが、たとえば時間を節約するとはどういうことだろうか。そもそも節約などできるのだろうか。同じ1時間を長く感じたり短く感じたりするのはなぜだろうか。さらに、現代社会において自明なものとして表象される直線的な時間は、時間というものを適切に捉えているのだろうか。時間を直線として、すなわち様々な時点が並列した秩序として捉えることは、時間ではなく空間的なものを想定しているのではないだろうか。時点とは本来、そのつど生成しては消滅してゆく今(現在)を意味するはずであり、そうした意味での今は、点として他の点と並んで残り続けるようなものとは対極をなすものではないだろうか。この授業では、私たちが自明視している時間概念に疑いの眼差しを向けることを通じて時間の本性に迫るとともに、とくに時間と社会との密接なつながりについて考察したい。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に関する基礎概念を身につける。 ・主観的時間と客観的時間との関係を理解する。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。 																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>演習形式、アクティブラーニング</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。現代社会と時間に関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <p>(1)時計時間</p> <p>(2)権力としての時間</p> <p>(3)量としての時間</p> <p>(4)直線としての時間</p> <p>(5)社会と時間</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100%</p>																																											

再評価： 有(レポートの予定)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 配布された文献は、次回までに精読しておいてください。
教科書 とくに必要ありません。
参考書 M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005年)、 伊藤美登里『現代人と時間——もうみんないっしょではいられない』学文社(2008年)、 西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006年)、 橋本毅彦・栗山茂彦編著『遅刻の誕生——近代における時間意識の形成』三元社(2001年)、 内山節『時間についての二章——哲学における時間の問題』岩波書店(2011年)、 B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997年)、 J.リフキン『タイムウォーズ』等
履修上の注意事項 コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000618																																															
科目名	主題別選択 I (ドロマロロジーと人間)	科目 ID	LA-210542-Z																																													
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																															
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間： 木曜 2 限</p> <p>医学科・歯学科</p> <p>募集人数：10 名以内</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>情報革命は時間と空間を極度に圧縮することによって、それ以前の革命とはまったく異なる質的变化を個人と社会に引き起こした。P・ヴィリリオはこのような変化を「速度」という観点から考察し、「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の前方へと追い立てる強制力を「ドロマロロジー」と呼んでいる。これは、「今・ここ」という現在を「いつか・どこか」という未来へと総動員することによって、「今・ここ」という現在を収奪することを意味している（「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の為に生きること）。この授業では、国家や政治や社会の体制を、それゆえ社会的存在たる人間の生き方をその内部から規定し突き動かす「ドロマロロジー」の原理とその派生的問題について、主として時間の観点から考察し、現代社会における人間の生の意味を問うてみたい。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドロマロロジーの基本構造について、社会制度（や制度が生み出す問題）と関わらせて理解する。 ・「今・ここ」（現在）の意味を問い直すことができる。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。 																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>演習形式、アクティブラーニング</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げたような文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <p>(1)前望構造</p> <p>(2)進歩史観</p> <p>(3)ドロマロロジー</p> <p>(4)生のユーティリティ化</p> <p>(5)生きられる現在</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 0%・レポート 0%・その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100%</p> <p>再評価：有(レポートの予定)</p>																																																

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>配布された文献は、次回までに精読しておいてください。</p>
<p>教科書</p> <p>とくに必要ありません。</p>
<p>参考書</p> <p>P.ヴィリリオ『瞬間の君臨——リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論(2003年)、 P.ヴィリリオ『速度と政治——地政学から時政学へ』平凡社(2001年)、 古東哲明『瞬間を生きる哲学——〈今ここ〉に佇む技法』筑摩書房(2011年)、 古東哲明『ハイデガー＝存在神秘の哲学』講談社現代新書(2002年)、 佐藤透『人生の意味の哲学——時と意味の探求』春秋社(2012年)、 J・レフキン『タイムウォーズ』早川書房(1989)、 鷺田清一『だれのための仕事』講談社学術文庫(2011年)、 鷺田清一『「待つ」ということ』角川選書(2006年)等</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>コメントシートを配布し、出欠をとります。</p>

時間割番号	000619				
科目名	主題別選択 I (植物の科学)	科目 ID	LA-210524-Z		
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2		
実務経験のある 教員による授業					
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>					
授業の目的、概要等					
<p>植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。</p>					
授業の到達目標					
<p>植物を歴史のおよび科学的側面からとらえ、PBL や課題発表を行い、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション、植物の歴史と人類との関わり	澤野 頼子
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の構造	澤野 頼子
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の成長	澤野 頼子
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(1)	澤野 頼子
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(2)	澤野 頼子
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	PBL	澤野 頼子
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野 頼子
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(3)	澤野 頼子
授業方法					
主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容					
植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。					
成績評価の方法					
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25%					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格					
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書					
植物生理学/三村徹郎, 鶴見誠二 編著, : 化学同人, 2009					

ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編.:オーム社, 2009

植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),.:培風館, 2017

新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,.:培風館, 2010

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000620					
科目名	主題別選択 I (フランス詩を読む)	科目 ID	LA-210510-Z			
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある 教員による授業						
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7) 人間の心への理解を深める</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。</p> <p>詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。</p>						
授業の到達目標						
<p>1) フランス詩のニュアンス・表現を味わう。</p> <p>2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	序論(概要の説明) プレヴェール	中島 ひかる
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	アポリネール・ロンサー ル	中島 ひかる
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ランボー、ボードレー ル	中島 ひかる
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリ ー	中島 ひかる
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	現代詩(エリュアール・ シュペルヴィエール)	中島 ひかる
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	レポート発表・意見交 換	中島 ひかる
授業方法						
講義と演習による。						
毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。						
授業内容						
ロンサーール、ボードレール、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。						
おおよその予定は以下の通りですが、受講者の興味や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。						
1 回目: 授業の概要説明、ジャック・プレヴェール						
2 回目: ヴェルレーヌ等						

<p>3 回目:アポリネール・ロンサール 4 回目:ランボー・ボードレール 5 回目:マラルメ、ヴァレリー 6 回目:ロマン派 7 回目:現代詩 8 回目:レポート発表、意見交換</p>
<p>成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価:有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p> <p>授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 フランス名詩選/安藤元雄, 入沢康夫, 渋谷孝輔 編,:岩波書店, 1998 プリントを配付する(PDF でメールアドレス宛に配信します)。</p>
<p>参考書 珊瑚集: 仏蘭西近代抒情詩選/永井 荷風 訳,:岩波書店 上田敏全訳詩集/山内 義雄・ 矢野峰人 編,:岩波書店 悪の華/ボードレール 著,鈴木信太郎 著,:集英社 ヴァレリー詩集/ヴァレリー/著,鈴木 信太郎/訳,:岩波書店, 1979 月下の一群: 訳詩集/堀口大 訳,:岩波書店, 2013 ロンサール詩集/ピエール・ド・ロンサール/[著],井上究一郎/訳,:岩波書店, 1989 ランボオ詩集/ランボオ [著],中原中也 訳,:岩波書店, 2013 地獄の季節/ランボー /作,小林秀雄/訳,:岩波書店, 2008 ヴェルレーヌ詩集/ヴェルレーヌ [著],堀口 大 訳,:新潮社 アポリネール詩集/アポリネール/[著],堀口大学/訳,:新潮社, 1985</p>
<p>履修上の注意事項 Zoom はオンにして授業に出席して下さい。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 中島 ひかる:月曜 12:00~13:00 * メールでの問い合わせには随時応じます</p>

時間割番号	000621			
科目名	主題別選択 I (昆虫にみられる社会性の進化)	科目 ID	LA-210543-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>				
授業の目的、概要等				
<p>ヒトは社会を高度に発達させ、現代まで繁栄してきた。社会性は哺乳類に限られた機構ではなく、実際には様々な分類群で見られる。そのなかでも昆虫は、最も社会性を多様に進化させた分類群の 1 つである。昆虫には親が子を守り育てる亜社会性から、繁殖階級と労働階級が分業する真社会性まで、多様な社会性の機構が存在する。そのなかでは、個体間の協働や繁殖競争などの特徴的な生態が見られる。本講義では真社会性を持つハチやアリの仲間を中心に、昆虫の多様な社会性とその進化について紹介する。彼らの社会とヒトの社会を比較し、その共通点と相違点について学ぶ。</p>				
授業の到達目標				
<p>昆虫をはじめとした生物にみられる社会の多様性について理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
授業方法				
<p>講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>				
授業内容				
<p>第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の多様化</p>				
成績評価の方法				
<p>評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。</p>				
教科書				
<p>指定なし。</p>				
参考書				
<p>・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012</p>				

・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993

・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000622																																															
科目名	主題別選択 I (昆虫の社会性の維持機構)	科目 ID	LA-210544-Z																																													
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]																																															
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 社会性を持つ生物は個体間で協力行動をとる。この協力行動は単なる自己犠牲ではなく、自己の利益に繋がる適応的な行動という側面を持つ。ヒトが制度や法令に従って社会を維持することと同様に、他の生物も彼らの社会性を維持するための機構を持つ。本講義では昆虫のなかでも高度に社会性を進化させたハチ・アリ類を中心に、社会性の維持機構を紹介する。彼らがどのような制度に従うことで社会性を維持し得るのか、何が社会性を崩壊させる脅威になり得るのかを理解することで、ヒトが自らの社会を安定的に維持するためのヒントを学ぶ。</p>																																																
<p>授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物の社会性の維持機構とその崩壊要因について理解を深める。そこから、ヒトが社会で生きる上での制度の重要性を学ぶ。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>																																																
<p>授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の維持と制度のかかわり</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。</p>																																																
<p>教科書 指定なし。</p>																																																

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000623					
科目名	主題別選択 I (中国語と中国文化)	科目 ID	LA-210545-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業						
<p>・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4) 外国文化を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>言語は文化のキャリアーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。</p>						
授業の到達目標						
授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化	諧音による置換と縁起かつぎ 諧音と言葉の改造	BAO MIN
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第2回 漢字と中国文化	文字に関する迷信と崇拝について 漢字から見た古代女性の社会的地位	BAO MIN
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第3回 中国語の語彙と中国文化	語彙と科挙制度 語彙および特有の思想、観念	BAO MIN
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第4回 中国語の文法と中国文化	中国語の語彙の兼類現象 中国語の対句芸術と民俗	BAO MIN
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第5回 中国語の数字と中国文化	中国語の中の数字文化	BAO MIN
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第6回 氏名・別称・地名と中国文化	中国人の姓氏と姓氏観念 地名と文化	BAO MIN
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第7回 中国語と中国の生活風俗	食の問題及び関連する言語現象、婚姻と婚姻に関連する言語現象、まとめ	BAO MIN
授業方法						
講義と演習による。						
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。						

<p>毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。</p>
<p>授業内容</p> <p>第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化 第2回 漢字と中国文化 第3回 中国語の語彙と中国文化 第4回 中国語の文法と中国文化 第5回 中国語の数字と中国文化 第6回 氏名・別称・地名と中国文化 第7回 中国語と中国の生活風俗 第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%</p> <p>再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社 プリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著, 武田, 雅哉, 1958-, 加部, 勇一郎, 1973-, 田村, 容子, 1975-, : ミネルヴァ書房, 2016 テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著, 湯浅, 邦弘, 宮本, 一夫, 横田, 恭三, 中村, 未来, 佐藤, 一好, 宇田川, 幸則, 古田, 茂美, 浅見, 洋二, 谷口, 高志, 草野, 友子, 福田, 一也, 鶴成, 久章, 梶島, 雅弘, 川野, 明正, 近藤, 浩之, 渡邊, 英幸, 町, 泉寿郎, 合山, 林太郎, 陶, 徳民, 柿沼, 陽平, : ミネルヴァ書房, 2016 中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳, 北京放送局日本語部, 王, 丹丹, : 科学出版社東京, 2016</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000624					
科目名	主題別選択 I (中国社会の現在)	科目 ID	LA-210546-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある 教員による授業						
<p>曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>別表3-5)国際情勢を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。						
授業の到達目標						
授業を通して、中国社会を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第1回 授業の概要説明	オリエンテーション、トピックの担当を決める	BAO MIN
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第2回 中国の素顔	習近平時代の中国社会の全貌	BAO MIN, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第3回 岐路に立つ米中関係	“アメリカVS中国”未来の覇権争い、米中貿易戦争	BAO MIN, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第4回 一帯一路の 大望とリスク	巨大経済圏構想の実態	BAO MIN, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第5回 一国二制度の 行方	香港問題の背景	BAO MIN, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第6回 14億人の 消費革命	中国におけるネット社会の行方	BAO MIN, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第7回 報告会	課題に関する報告	BAO MIN, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	第8回 まとめ	意見交換	BAO MIN, 奈良 雅之
授業方法						
講義と演習による。						
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、担当を決める。						
第2回 中国の素顔						
第3回 岐路に立つ米中関係						

<p>第4回 一帯一路の大望とリスク</p> <p>第5回 一国二制度の行方</p> <p>第6回 14億人の消費革命</p> <p>第7回 報告会</p> <p>第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%</p> <p>再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>:明石書店</p> <p>:小学館</p>
<p>参考書</p> <p>現代中国を知るための 52 章／藤野彰 編著,藤野, 彰, 1955-,: 明石書店, 2018</p> <p>習近平が変えた中国／天児慧 編著,茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著,天児, 慧, 1947-,茅原, 郁生, 1938-,関, 志雄, 1957-,佐藤, 考一, 1960-,: 小学館, 2018</p> <p>幸福な監視国家・中国／梶谷懐, 高口康太 著,梶谷, 懐, 1970-,高口, 康太, 1976-,: NHK 出版, 2019</p> <p>中国「強国復権」の条件 : 「一帯一路」の大望とリスク／柯隆 著,柯, 隆, 1963-,: 慶應義塾大学出版会, 2018</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000625			
科目名	主題別選択 I (微分方程式演習)	科目 ID	LA-210520-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が 7 割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000626																																															
科目名	主題別選択 I (タンパク質科学の光と影)	科目 ID	LA-210522-Z																																													
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																															
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める。</p> <p>2000 字以上のレポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポストドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート 80%</p> <p>その他(授業への参加度 20%)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																																
<p>成績評価の基準</p>																																																

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習: 配付資料に目を通してください。 復習: 興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
参考書 タンパク質の生命科学 : ポスト・ゲノム時代の主役 / 池内俊彦 著, : 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学 : 構造・機能・ゲノミクス / Arthur M.Lesk 著, 高木淳一 訳, : 化学同人, 2007 入門構造生物学 : 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く / 高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編, : 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能 : カラー図説 / グレゴリー A. ベツコ / 著, ダグマール リンゲ / 著, 横山 茂之 / 監訳, 宮島 郁子 / 訳, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000627																																																																	
科目名	主題別選択 I (危険物の科学)	科目 ID	LA-210526-Z																																																															
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																																	
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																																															
実務経験のある 教員による授業																																																																		
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																		
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。																																																																		
授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解し、レポートにまとめることができる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。																																																																		
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>化学物質と法律</td> <td>化学物質と法律についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>燃焼について</td> <td>燃焼についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>消火法について</td> <td>消火法についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>危険物とは</td> <td>危険物についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>第1類~第3類について</td> <td>第1類~第3類についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>第4類~第6類について</td> <td>第4類~第6類についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>グループディスカッション</td> <td>グループワークを行い、学生同士で安全について議論する。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワークの成果を発表する。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/3	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	化学物質と法律	化学物質と法律についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	2	6/10	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	燃焼について	燃焼についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	3	6/17	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	消火法について	消火法についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	4	6/24	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	危険物とは	危険物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	5	7/1	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第1類~第3類について	第1類~第3類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	6	7/8	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第4類~第6類について	第4類~第6類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	7	7/15	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	グループディスカッション	グループワークを行い、学生同士で安全について議論する。	勝又 敏行, 奈良 雅之	8	9/2	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション	グループワークの成果を発表する。	勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	6/3	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	化学物質と法律	化学物質と法律についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
2	6/10	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	燃焼について	燃焼についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
3	6/17	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	消火法について	消火法についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
4	6/24	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	危険物とは	危険物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
5	7/1	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第1類~第3類について	第1類~第3類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
6	7/8	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第4類~第6類について	第4類~第6類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
7	7/15	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	グループディスカッション	グループワークを行い、学生同士で安全について議論する。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
8	9/2	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション	グループワークの成果を発表する。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。																																																																		
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類~第2類の性質、事故事例等 5. 第3類~第4類の性質、事故事例等 6. 第5類~第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論																																																																		
成績評価の方法																																																																		

評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50%
レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,:共立出版, 2009

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000628			
科目名	主題別選択 I (老化と寿命)	科目 ID	LA-210528-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。 				
授業の目的、概要等				
<p>「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は環境さえ良ければ無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化と関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。</p>				
授業の到達目標				
生命科学のトピックス(加齢現象)について理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
授業方法				
セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容				
<p>老化現象と老化の原因(概要)</p> <p>骨と筋の老化</p> <p>感覚器(視覚・聴覚)の老化</p> <p>皮膚の老化</p> <p>脳の老化</p> <p>血管の老化</p> <p>老化と遺伝子</p> <p>老化と環境要因</p> <p>抗加齢医学</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000629																																										
科目名	主題別選択 I (日本とドイツの思想: 入門)	科目 ID	LA-210547-Z																																								
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>前期前半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数: 3 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-4) 異なる空間の文化を理解する 別表 3-4) 外国文化を理解する 																																											
<p>主な講義場所</p> <p>Zoom での遠隔授業; (湯島キャンパス 3号棟4階演習室4-11, 12)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本で暮らしたドイツ人哲学者が、ドイツの読者に向けて書いた Japanisches Denken (『日本の思想』)という本を、原文で読んでいきます。 原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。 時間数が少ないため、第1章の「神道」についての章だけを読むことになると思います。ある程度読めたら、著者の「神道」に関する理解と、自分たちの理解の違いについて議論できれば、と思います。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>ドイツ人哲学者が、日本の思想についてどのようにドイツ語でドイツの読者に伝えようとしたかを考えることが目標です。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授 業(同期 型)</td> <td>日本とドイツの思想: 入門 1</td> <td>オリエンテーション。Vorwort (5 ページ)を読む。</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってく ること。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授 業(同期 型)</td> <td>日本とドイツの思想: 入門 2</td> <td>本文: "Japanische Weltanschauung" を読み始め る。(9 ページ~)</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授 業(同期 型)</td> <td>日本とドイツの思想: 入門 3</td> <td>本文の続きを読む。</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授 業(同期 型)</td> <td>日本とドイツの思想: 入門 4</td> <td>本文の続きを読む。</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/8	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 1	オリエンテーション。Vorwort (5 ページ)を読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。	2	4/15	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 2	本文: "Japanische Weltanschauung" を読み始め る。(9 ページ~)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。	3	4/22	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 3	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。	4	5/6	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 4	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																				
1	4/8	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 1	オリエンテーション。Vorwort (5 ページ)を読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。																																				
2	4/15	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 2	本文: "Japanische Weltanschauung" を読み始め る。(9 ページ~)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。																																				
3	4/22	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 3	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。																																				
4	5/6	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 4	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。																																				

5	5/13	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 5	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。
6	5/20	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 6	本文の続きを読む。(～15 ペー ジ?あるいは 17 ページ。)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習をしてくるこ と。
7	5/27	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	日本とドイツの思想: 入門 7	今まで読んだところについての 試験。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。今まで 読んだところま でを復習してお くこと。

授業方法

セミナー形式: 毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。

授業内容

初回: オリエンテーション: 原文のコピーを配り、いきなり序文を読みます。著者についてドイツ語で説明があるからです。
第2回から第 6 回まで: 本文の第1章を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。
第 7 回: 到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。
試験が 50 パーセント。
再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

- ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくこととよいです。他の参考書も活用するとよいです。
- ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。
- ・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Japanisches Denken : der weltanschauliche Hintergrund des heutigen Japan / Robert Schinzinger: Erich Schmidt, 1983
ドイツの本で古いので、購入はせず、
コピーを配ります。

参考書

新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008
アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。 受講者が 5 人以下の場合、最終回の試験の代わりに、 毎回訳し終わったところまでを、次の週までに清書して提出する 「課題提出」に変更する可能性があります。 初回に詳しい説明があります。

連絡先(メールアドレス)

SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000630						
科目名	主題別選択 I (Leben und Werke を読む)	科目 ID	LA-210548-Z				
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある 教員による授業							
<p>前期後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数: 3 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-4) 異なる空間の文化を理解する 別表 3-4) 外国文化を理解する 							
<p>主な講義場所</p> <p>Zoom での遠隔授業;(湯島キャンパス 3号棟4階演習室4-11, 12)</p>							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本で暮らしたドイツ人哲学者が、日本の読者に向けてドイツ語で書いた Leben und Werke という本を、原文で読んでいきます。</p> <p>原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。</p> <p>時間数が少ないため、第1章の彼の半生の一部分だけを読むことになると思います。</p>							
<p>授業の到達目標</p> <p>19 世紀末期からのドイツでの生活を知り理解することを目的とします。</p> <p>そこまで読んだ内容が理解できているか確認するため、最終回に試験を行います。</p>							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/3	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 1	オリエンテーション。本文: Vita を読み始める。(9 ページ ~)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。
2	6/10	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 2	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
3	6/17	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 3	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
4	6/24	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 4	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。

5	7/1	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 5	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
6	7/8	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 6	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
7	7/15	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 7	本文の続きを読む。(～17 ペー ジ? 18 ページ?)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
8	9/2	10:05- 10:55	遠隔授 業(同期 型)	Leben und Werke を 読む 8	読んだところまでについての試 験。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。今まで 読んだところを 復習しておくこ と。

授業方法

セミナー形式：毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。

授業内容

初回：オリエンテーション：原文のコピーを配り、最初の部分を読みます。

第2回から第 7 回まで：本文を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。

第 8 回：到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

試験が 50 パーセント。

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくことによいです。他の参考書も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Robert Schinzinger 著

Leben und Werke

古い本ですのでコピーを配ります。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆,

吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 彌彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もし
できるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおす
すめです。

履修上の注意事項

毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回指定された範囲を予習してきてく
ださい。 受講者が5人以下の場合、最終回の試験の代わりに、毎回 訳し終わったところまでを清書してもらい、次回ま
でに提出してもらう 「課題提出」に変更する可能性があります。 初回に詳しく説明します。

連絡先(メールアドレス)

SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000631																																															
科目名	主題別選択 I (民主主義を再考する)	科目 ID	LA-210532-Z																																													
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]																																															
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間：木曜 2 限 対象学科：医・歯学科 募集人数：25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-4)、3-5)</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 民主主義は今、危機にあります。その危機は二つの方面から到来しています。一つは、民主主義国の国内から。欧米の民主主義諸国は軒並みポピュリズム化し、権威主義的自由主義に飲み込まれつつあります。もう一つは、中国をはじめとする非民主主義国の台頭です。非民主主義的権威主義国家の国際社会でのプレゼンスの増大は、外側から民主主義諸国を動揺させ始めています。「もしかして、民主主義は時代遅れなのか？」と。そこで、民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、世界のそして日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。批判の焦点は近代民主主義の制度的基礎である代表制度——選挙と政党——です。そしてポスト代表制度の民主主義はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。</p>																																																
<p>授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																																
<p>授業内容 第 1 回 今の政治に満足か？——中国的統治モデルの誘惑—— 第 2 回 古代の民主主義——クジと非支配 第 3 回 近代民主主義①——国民主権 第 4 回 近代民主主義②——代表制度 第 5 回 代表制度と選挙——その黄金期の社会的条件 第 6 回 代表制度の行き詰まりとその病理——ポピュリズムと二つの権威主義 第 7 回 ポスト代表制度の民主主義を構想する——参加と熟議 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

藤井達夫『平成の正体』(イースト新書、2018年)

参考書

齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017年)

水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016年)

待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015年)

ヴァン・レイブルック『選挙制を疑う』(法政大学出版局、2019年)

S.レビツキー、D.ジブラット『民主主義の死に方』(新潮社、2018年)

中村淳彦・藤井達夫『日本が壊れる前に』(亜紀書房、2020年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000632			
科目名	主題別選択 I (英語で学ぶヒトの脳と言語)	科目 ID	LA-210534-Z	
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜・2 限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科:医・歯学科</p> <p>募集人数:25 人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を深める。</p> <p>別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>				
授業の目的、概要等				
地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見も紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行い、言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。				
授業の到達目標				
<p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。</p> <p>(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p> <p>(3) 言語と脳に関する英語の文献を読み、議論する。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
授業方法				
初回から何度か講義を行う。以降は受講生が選んだテーマをもとに論文紹介と討論を行う。				
授業内容				
6月3日 Overview of the human language				
6月10日 Language circuits in the brain				
6月17日 Language acquisition				
6月24日 Critical period for language learning				
7月1日 Second-language and sign language				
7月8日 Animal behavior similar to language				
7月15日 Comparison between bird song and human language				
9月2日 Comparison between behavior of primates and human language				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0 % ・ レポート(英語) 60 % ・ その他(論文紹介・討論) 40 %				
再評価: 有(レポート提出)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義回の予習は求めませんが、授業の理解が難しい場合は、参考文献で復習してください。1人最低 1 本の論文を紹介してもらうため、早めに興味を絞って読む論文を決めておいてください。テーマの選択や論文検索については、適宜相談にのります。

教科書

指定しない

参考書

Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2012 McGraw-Hill.

その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000635																																																		
科目名	主題別選択 I (医歯系のための物理)	科目 ID	LA-210517-Z																																																
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																																		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																																
実務経験のある 教員による授業																																																			
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。</p>																																																			
<p>授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。 各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 1:力学</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 2:流体</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 3:熱</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 4:音</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 5:光</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 6:磁気</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 7:放射線</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 1:力学	檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 2:流体	檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 3:熱	檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 4:音	檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 5:光	檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 6:磁気	檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 7:放射線	檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																														
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 1:力学	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 2:流体	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 3:熱	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 4:音	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 5:光	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 6:磁気	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 7:放射線	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ 																																																			
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																																			
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																			
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																			
<p>試験の受験資格</p>																																																			

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015
物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。

備考

2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000636																																																								
科目名	主題別選択 I (人体・医療の物理)	科目 ID	LA-210518-Z																																																						
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																																								
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																																						
実務経験のある 教員による授業																																																									
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X 線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。</p>																																																									
<p>授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。 各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>力学と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>流体と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>熱と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>音と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>光と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>磁気と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>放射線と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>まとめ</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	力学と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	流体と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	熱と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	音と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	光と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	磁気と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	放射線と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	まとめ	檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																				
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	力学と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	流体と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	熱と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	音と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	光と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	磁気と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	放射線と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	まとめ	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																									
<p>授業内容 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療</p>																																																									
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。 評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無</p>																																																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																									

<p>試験の受験資格</p> <p>試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要</p>
<p>参考書</p> <p>生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。</p>
<p>備考</p> <p>2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3</p>

時間割番号	000637			
科目名	主題別選択 I (Explorations in Literature Philosophy and Science)	科目 ID	LA-210540-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
授業内容				
<p>Tentative Outline</p> <p>Week Date</p> <p>1 Orientation, Robert Nozick "Love's Bond"</p> <p>2 Nozick "Love's Bond"</p> <p>3 Poetry</p> <p>4 Poetry</p> <p>5 Hamabata "Crested Kimono"</p> <p>6 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"</p> <p>7 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"</p> <p>8 Wrap-up + Term Paper Interviews</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
<p>Participation</p> <p>There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.</p>				

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

時間割番号	000638			
科目名	主題別選択 I (Understanding Language and Society)	科目 ID	LA-210536-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn such as speaking a foreign language. Modern thinkers such as John Searle and Pierre Bourdieu have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of these thinkers and thereby enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
*Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
授業内容				
Tentative Schedule				
Week				
1 Orientation, An Essay Concerning Human Understanding (Locke)				
2 An Essay Concerning Human Understanding (Locke)				
3 Mind, Language, and Society (Searle)				
4 Mind, Language, and Society (Searle)				
5 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
6 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
7 Matrix quiz, wrap-up, term paper interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000639			
科目名	主題別選択 I (小説の言語と演劇の言語)	科目 ID		
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断することも少なくない。ある程度文化的な背景を共有していれば、やはり非言語的感覚の共有によって意思の疎通が可能になるだろう。そこで本授業では、小説と戯曲(演劇脚本形態の文学作品)の両方を精読することによって、言語以外の情報がない小説の「言語」と、身体表現によってさまざまな情報が補われる演劇の「言語」を比較、分析する。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>				
授業の到達目標				
<p>①日本近代文学を代表する小説と戯曲の両方を読む。 ②精読を通し、小説と戯曲の中の「言語」について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
授業方法				
<p>授業で扱う作品を精読して授業に臨む。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。</p>				
授業内容				
<p>1) ガイダンス 2) 芥川龍之介『舞踏会』① 3) 芥川龍之介『舞踏会』② 4) 『舞踏会』の戯曲化 5) 『舞踏会』の戯曲化 6) 三島由紀夫『鹿鳴館』① 7) 三島由紀夫『鹿鳴館』② 8) 総括</p>				
成績評価の方法				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
成績評価の基準				
<p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など) 40% 再評価: 有(再レポート)</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
作品の精読、コメントシートなど課題。期日を守って提出すること。				
試験の受験資格				
<p>3分の2以上の授業に出席していること。 10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>				
教科書				

<p>鹿鳴館／三島由紀夫:新潮社, 1984</p> <p>授業内で指示。</p>
<p>参考書</p> <p>授業内で指示。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。 出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取ること優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考</p> <p>毎回のリアクションペーパーや課題を遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階</p> <p>※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。</p>

時間割番号	000640																																										
科目名	主題別選択 I (ネイションとマイノリティの関係史)	科目 ID																																									
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>受講資格: 医学科, 歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>3-4) 外国文化を理解する</p> <p>3-5) 国際情勢を理解する</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>20 世紀の危機を集中的に表現している総力戦時代のドイツ・中欧地域におけるネイションとマイノリティの問題を歴史的にたどり、現代世界でも頻繁に起こっている民族・宗教紛争を捉える基本的な視角を提示します。具体的には、多民族的国家オーストリア-ハンガリー帝国におけるドイツ人とチェコ人の関係が、第一次世界大戦後にチェコスロヴァキアという新しい国民国家が成立し、展開する過程でどのように変容し、ナチ・ドイツの支配と第二次世界大戦によっていかにして清算されていくのか、その過程を明らかにします。このケーススタディを通してネイションとマイノリティに関わる現代世界の成り立ちの一端を知ることができるでしょう。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>1. ドイツ・中欧地域の歴史的な具体的事例をもとに、ネイションとマイノリティの関係史を比較史的・構造史的に捉えられるようにします。</p> <p>2. ナショナリズムの基本的問題を具体的な事例で知ることによって、現代の国際社会・国際紛争を見る視点を培います。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義, ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>1. ネイションとマイノリティ</p> <p>2. ハプスブルク帝国における民族間関係</p> <p>3. ドイツ・中欧国民国家体制の再編</p> <p>4. パリ講和会議とマイノリティ保護条約</p> <p>5. 戦間期国民国家とマイノリティ</p> <p>6. ナチ・ドイツの占領統治</p> <p>7. 離散と抵抗: 中欧マイノリティ問題の清算</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: レポート 70%, 出欠, コメントシートなどの授業への参加度 30%</p> <p>知識の確実な習得を重視する。再評価 有(レポート)</p>																																											

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>本シラバスに「参考書」として挙げた文献，授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。</p>
<p>教科書</p> <p>とくになし。授業当日にプリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>塩川伸明『民族とネイション——ナショナリズムという難問』（岩波新書，2008） M. マゾワー『暗黒の大陸——ヨーロッパの20世紀』中田瑞穂・網谷龍介訳（未来社，2015） 大津留 厚 編『「民族自決」という幻影——ハプスブルク帝国の崩壊と新生諸国家の成立』（昭和堂，2020）この他，参考書などは授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠については，出欠管理システムの記録と，教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード：ハプスブルク帝国，ナショナリズム，ネイション，マイノリティ</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>相馬 保夫:y.soma.las@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	000641			
科目名	主題別選択 I (発がんと確率過程)	科目 ID		
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
がん細胞は体細胞の遺伝子に変異が蓄積することによって生じる。遺伝子の変異は偶然によって生じる確率的な事象である。確率的な現象の時間発展は確率過程として記述される。この講義では発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析する手法について説明する。				
授業の到達目標				
発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析するために必要な理論について理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスを体細胞の遺伝子に突然変異が蓄積する確率的な事象として捉え、その時間発展である確率過程の理論について説明する。				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。各自しっかりと復習すること。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000642			
科目名	主題別選択 I (視覚情報と言語)	科目 ID		
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断材料を得ようとすることが多い。ではその情報を得られない人には、どのように伝えるのか。本授業では、目の見えない人物が登場する文学作品から「言語による情報のみで表現する」場合と、「言語を含む情報で表現する」場合の、作家の言語の扱いについて考察する。可能であれば、授業内で「見えない」状況を作り、それを言語のみで正しく伝える試みも企画している。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>				
授業の到達目標				
<p>①古典と日本近代文学を代表する作品の両方を読む。 ②「言語」とそれ以外の機能について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 相馬 保夫
授業方法				
<p>授業で扱う作品を精読して授業に臨むこと。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。</p>				
授業内容				
<p>1) ガイダンス 2) 謡曲「弱法師」 3) 謡曲「弱法師」 4) 説経節「しんとく」 5) 三島由紀夫「弱法師」① 6) 三島由紀夫「弱法師」② 7) 総括</p>				
成績評価の方法				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
成績評価の基準				
<p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など)40% 再評価: 有(再レポート)</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>作品の精読、コメントシートなど課題。期日を守って提出すること。</p>				
試験の受験資格				
<p>3分の2以上の授業に出席していること。 10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>				

<p>教科書 近代能楽集／三島由紀夫：新潮社 授業内で指示。</p>
<p>参考書 授業内で指示。</p>
<p>履修上の注意事項 授業内で扱う作品数は、進捗度で変化する。出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取ること出欠を優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考 毎回のリアクションペーパーや課題を遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階 ※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。</p>

時間割番号	000643																																															
科目名	主題別選択 I (ジェノサイドの論理と心理)	科目 ID																																														
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]																																															
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜 2 限</p> <p>受講資格:医学科, 歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>3-4) 外国文化を理解する</p> <p>3-5) 国際情勢を理解する</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ジェノサイド(大量虐殺)とは、ナチ・ドイツによるユダヤ人大量虐殺(ホロコースト)という未曾有の犯罪を経て第二次世界大戦後、とくに 1948 年に国連で採択されたジェノサイド条約(集団殺害罪の防止および処罰に関する条約)を契機として使われるようになった言葉です。そこでは、ジェノサイドは、「国民的、民族的、人種的または宗教的な集団の全部または一部をそれ自体として破壊する意図をもって行われる行為」をさし、それには集団を殺害すること以外に精神的・身体的な危害を加えることも含まれています。ここでは、さまざまなジェノサイドとの比較を射程に入れながら、この条約の基になったナチ・ドイツのユダヤ人大量虐殺の行為者(アクター)の論理と心理に歴史的に迫ることとします。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>1. ジェノサイドを歴史的・比較類型的に捉えることによって、現代世界におけるジェノサイド現象について理解を深めます。</p> <p>2. ナチ・ドイツによるユダヤ人大量虐殺の行為者(アクター)の論理と心理を比較検討することによって、現代世界におけるジェノサイドの予防に何が必要かを理解する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義, ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>1. ジェノサイドとは?</p> <p>2. ジェノサイドの諸類型</p> <p>3. ナチ・ジェノサイドの前提</p> <p>4. ナチ・ジェノサイドの論理</p> <p>5. 「ゲルマン大帝国」構想</p> <p>6. ナチ・ジェノサイドの心理 (1)</p> <p>7. ナチ・ジェノサイドの心理 (2)</p> <p>8. 総括</p>																																																

<p>成績評価の方法</p> <p>評価:レポート 70%, 出欠, コメントシートなどの授業への参加度 30%</p> <p>知識の確実な習得を重視する。再評価 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。</p>
<p>教科書</p> <p>とくになし。授業当日にプリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>ジェーン・スプリンガー『1冊で知る虐殺(ジェノサイド)』石田勇治監修, 築地誠子訳(原書房, 2010)</p> <p>石田勇治・武内進一編『ジェノサイドと現代世界』(勉誠出版, 2011)</p> <p>クリストファー・R・ブラウニング『普通の人びと——ホロコーストと第 101 警察予備大隊』増補版, 谷 喬夫訳(筑摩書房, 2019)</p> <p>ゼンケ・ナイツェル/ハラルト・ヴェルツァー『兵士というもの——ドイツ兵捕虜盗聴記録に見る戦争の心理』小野寺拓也訳(みすず書房, 2018)</p> <p>フィリップ・サンズ『ニュルンベルク合流——「ジェノサイド」と「人道に対する罪」の起源』園部 哲訳(白水社, 2018)</p> <p>パスカル・ボニファス/ユベール・ヴェドリーヌ『最新世界紛争地図』神奈川夏子訳(ディスカヴァー, 2020)</p> <p>この他, 参考書などは授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード:ジェノサイド, ホロコースト, ナショナリズム, レイシズム</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>相馬 保夫:y.soma.las@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	000644			
科目名	主題別選択 I (数理で理解する発がん)	科目 ID		
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
分子生物学の発展によって発がんのプロセスの詳細は分子のレベルで明らかとなりつつあるが、がん細胞が生体内で発生してから臨床的にがんと診断されるまでには、がん細胞が増殖し、周囲の細胞へ影響を与え、また免疫細胞から逃れたり、複雑なプロセスを経る必要があり、いまだに不明な点が数多く残されている。発がんのプロセスの全容を解明するためには、分子生物学だけでなく様々な視点から発がんのプロセスを捉えることが必要である。この講義では数理科学的な観点から発がんのプロセスを理解するための理論について解説する。				
授業の到達目標				
がん細胞の発生、増殖、がん組織の進展など発がんのプロセスの諸過程を記述する数理モデルについて、その理論を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスの諸過程を数理モデルで記述し、解析手法について解説する。				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。復習を各自しっかりと行うこと。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000701			
科目名	主題別選択Ⅱ (Explorations in Literature Philosophy and Science)	科目 ID	LA-310539-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
授業内容				
Tentative Outline				
Week Date				
1 Orientation, Robert Nozick "Love's Bond"				
2 Nozick "Love's Bond"				
3 Poetry				
4 Poetry				
5 Hamabata "Crested Kimono"				
6 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"				
7 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"				
8 Wrap-up + Term Paper Interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
Participation				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

時間割番号	000702			
科目名	主題別選択Ⅱ (Understanding Language and Society)	科目 ID	LA-310136-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn such as speaking a foreign language. Modern thinkers such as John Searle and Pierre Bourdieu have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of these thinkers and thereby enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
*Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
授業内容				
Tentative Schedule				
Week				
1 Orientation, An Essay Concerning Human Understanding (Locke)				
2 An Essay Concerning Human Understanding (Locke)				
3 Mind, Language, and Society (Searle)				
4 Mind, Language, and Society (Searle)				
5 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
6 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
7 Matrix quiz, wrap-up, term paper interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000706																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(フランス文学を読む)	科目ID	LA-310109-Z																																																								
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]																																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																								
実務経験のある教員による授業																																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7) 人間の心への理解を深める</p>																																																											
主な講義場所 湯島																																																											
授業の目的、概要等 16世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいきます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。																																																											
授業の到達目標 1) フランス文学のニュアンス・表現を味わう。 2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。 3) 文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>イントロダクション 社会と文学</td> <td>概説 スタンダール、バルザック</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>モラリスト文学</td> <td>パスカル、モンテーニュ</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス古典劇</td> <td>モリエール、ラシーヌ</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>書簡体文学</td> <td>ラクロ</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>自伝文学</td> <td>ルソー</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時間の表現</td> <td>プルースト</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>現代文学・批評</td> <td>カミュ・バルト</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション 社会と文学	概説 スタンダール、バルザック	中島 ひかる	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	モラリスト文学	パスカル、モンテーニュ	中島 ひかる	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス古典劇	モリエール、ラシーヌ	中島 ひかる	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	書簡体文学	ラクロ	中島 ひかる	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	自伝文学	ルソー	中島 ひかる	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時間の表現	プルースト	中島 ひかる	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	現代文学・批評	カミュ・バルト	中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション 社会と文学	概説 スタンダール、バルザック	中島 ひかる																																																					
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	モラリスト文学	パスカル、モンテーニュ	中島 ひかる																																																					
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス古典劇	モリエール、ラシーヌ	中島 ひかる																																																					
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	書簡体文学	ラクロ	中島 ひかる																																																					
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	自伝文学	ルソー	中島 ひかる																																																					
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時間の表現	プルースト	中島 ひかる																																																					
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	現代文学・批評	カミュ・バルト	中島 ひかる																																																					
授業方法 講義と演習による。 毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。作品に目を通して感想を述べていただいた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。その後には、はじめの感じ方とどう変わったか受講者の間で意見交換を行います。																																																											
授業内容 7回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。 <ol style="list-style-type: none"> 1) スタンダール、バルザック(19世紀の社会と小説) 2) パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学) 3) モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇) 4) ラクロ(書簡体文学) 5) ルソー(自伝文学) 6) プルースト(時間の表現) 																																																											

7)カミュ・バルト(現代文学)
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価:有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)
フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。授業中に発言を求めますので、それについても20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析したレポートを高く評価します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 プリントを配付する(PDFでメールアドレス宛に配信します)。
参考書 危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／プルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ
履修上の注意事項 Zoomはオンにして授業に出席して下さい。
連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:月曜 12:00～13:00 *メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000707																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(科学と疑似科学の境界)	科目ID	LA-310121-Z																																								
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>巷には「マイナスイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>授業の関連したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める。</p> <p>2000字以上のレポートとしてまとめられることが、GPAにおける「B」に相当する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加して頂き、2年生を引っ張ってほしいと思います。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート80%</p> <p>その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。</p> <p>復習: 興味のある項目について、文献を調べてください。</p>																																											

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

教科書

なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人:PHP 新書, 2016

参考書

嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著,:文藝春秋, 2014

メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著,:名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010

科学と人間の不協和音／池内了 [著],:角川書店, 2012

活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修,:丸善

博士漂流時代 : 「余った博士」はどうか?／榎木英介 [著],:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010

水素水とサビない身体／太田成男 著,:小学館, 2013

疑似科学入門／池内 了 著,:岩波書店, 2008

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000708			
科目名	主題別選択Ⅱ(環境への適応)	科目ID	LA-310130-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>				
授業の目的、概要等				
<p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>				
授業の到達目標				
<p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
授業方法				
<p>基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>				
授業内容				
<p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>				
成績評価の方法				
<p>評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価:有</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>アクティブラーニングとして、予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、</p>				

<p>研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書 資料を配布する。</p>
<p>参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005 はじめの一歩のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編,:羊土社, 2012</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000709			
科目名	主題別選択Ⅱ(物理数学演習)	科目ID	LA-310119-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をととして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が7割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価:試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹:毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4階				

時間割番号	000711				
科目名	主題別選択Ⅱ(食品の科学)	科目ID	LA-310123-Z		
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		
実務経験のある 教員による授業					
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p>					
授業の目的、概要等					
<p>食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、PBL や課題発表を行い、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション、食の歴史(1)	澤野 頼子
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食の歴史(2)	澤野 頼子
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食の歴史(3)	澤野 頼子
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食品成分の化学的性質(1)	澤野 頼子
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	食品成分の化学的性質(2)	澤野 頼子
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	PBL	澤野 頼子
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野 頼子
授業方法					
主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容					
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。					
成績評価の方法					
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25%					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格					
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書					
食品の科学/上野川修一, 田之倉優 編.:東京化学同人, 2005 食品学:食品成分と機能性/久保田紀久枝, 森光康次郎 編.久保田, 紀久枝, 1948-,森光, 康次郎, 1963-,:東京化学同人, 2016					

ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著, 鮫島, 邦彦, 1938-, 高橋, 史生, : 三共出版, 2005

健康と食生活／吉田勉 編著, 吉田, 勉, 1927-, : 学文社, 2016

パソコンで学ぶ食品化学 : 目で見える食品成分とその変化／高野克己, 渡部俊弘編著, 高野, 克己, 渡部, 俊弘, : 三共出版, 2005

健康と調理のサイエンス : 調理科学と健康の接点／大越ひろ, 品川弘子 編著, 渡辺敦子, 大須賀彰子, 藤井恵子, 高橋智子, 飯田文子 著, : 学文社, 2017

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000712																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(生物の中の糖)	科目ID	LA-310125-Z																																																								
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																								
実務経験のある 教員による授業																																																											
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう(アクティブラーニング)。</p>																																																											
<p>授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につけ、レポート、プレゼンテーションにまとめられる。 GPAにおける「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖について</td> <td>糖についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖の生合成</td> <td>糖の生合成についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖と生物</td> <td>糖と生物についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>糖と疾病</td> <td>糖と疾病についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション1</td> <td>学生による課題発表</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション2</td> <td>学生による課題発表</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション3</td> <td>学生による課題発表</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖について	糖についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖の生合成	糖の生合成についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と生物	糖と生物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と疾病	糖と疾病についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション1	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション2	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション3	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖について	糖についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖の生合成	糖の生合成についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と生物	糖と生物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	糖と疾病	糖と疾病についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション1	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション2	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション3	学生による課題発表	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																					
<p>授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病 																																																											
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。</p>																																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																											

準備学習等についての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編], 鈴木康夫, 木全弘治 監訳, :丸善, 2010

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000713																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(宇宙と生命)	科目ID	LA-310127-Z																																								
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本人宇宙飛行士が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらおう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックス(特に宇宙生物学)について理解し、説明することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらおう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>国際宇宙ステーションと宇宙環境と生物(概論)</p> <p>無(微小)重力がもたらす脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす無脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす植物への影響</p> <p>重力感受機構</p> <p>宇宙放射線</p> <p>宇宙放射線の生物への影響</p> <p>宇宙医学</p> <p>宇宙医学が地上の医学にもたらすもの</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。</p>																																											

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000714																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(生物間のコミュニケーション)	科目ID	LA-310129-Z																																								
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]																																										
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は次の1)～4)である。</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。</p> <p>2)この分野における研究の現状を理解する。</p> <p>3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。</p> <p>2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	伊藤 正則, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。自身でテーマを見つけ、レポートを作成する。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価: 有</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																											

<p>予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書 必要に応じて参考資料を配布する</p>
<p>参考書 脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010 はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12 行動の神経生物学／ギュンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000715			
科目名	主題別選択Ⅱ(医療の社会学)	科目ID	LA-310131-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医・歯学科 募集人数: 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等				
この授業では、テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との間の根深く暗い関係を優生思想の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生思想の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生思想と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標				
(1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容				
第 1 回 医療が描く理想社会——民族衛生から SDH、そして COVID-19 へ 第 2 回 医療と優生思想 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生思想とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者——戦後の障害者政策と障害者運動 第 7 回 「青い芝の会」と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
教科書は使用しません。				

参考書

ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974年)

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008年)

ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018年)

マイケル・マーモット『健康格差』(日本評論社、2017年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000716																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(ヒトの脳と言語)	科目ID	LA-310133-Z																																								
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜・2限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科:医・歯学科</p> <p>募集人数:30人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表1-7) 人間の心への理解を深める。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ヒトに特有の機能とされる言語。なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。講義では言語の機能および言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と脳神経系の発達から臨界期仮説を解説します。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。</p> <p>(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p> <p>(3) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>基本的に講義形式で行う。毎回の授業の初めにリアクションペーパーを利用した質疑や討論も予定している。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>4月8日 言語とは</p> <p>4月15日 言語の研究法</p> <p>4月22日 言語獲得と脳</p> <p>5月6日 言語獲得の臨界期</p> <p>5月13日 言語の神経基盤</p> <p>5月20日 言語の神経基盤(2)</p> <p>5月27日 言語の生物学的起源</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他(リアクションペーパー) 30 %</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習は特に求めませんが、授業の理解が難しい場合は、適宜紹介する参考文献で復習してください。また、講義後に疑問点やコメントを書いて頂くリアクションペーパーをもとに解説や議論を行います。</p>																																											

教科書 指定しない
参考書 「カンデル神経科学 第5版」金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014. 「あいまいな会話はなぜ成立するのか」時本真吾, 岩波書店, 2020. その他、抗議中に随時紹介します。
履修上の注意事項 レポート提出の資格は、原則として授業回数の2/3以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000719																																																								
科目名	主題別選択Ⅱ(植物の科学)	科目ID	LA-310124-Z																																																						
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]																																																								
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																						
実務経験のある 教員による授業																																																									
<p>曜日・時間:木曜日・2時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。</p>																																																									
<p>授業の到達目標 植物を歴史のおよび科学的側面からとらえ、PBL や課題発表を行い、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>イントロダクション、 植物の歴史と人類との関わり</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>植物の構造</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>植物の成長</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>植物の機能(1)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>植物の機能(2)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>PBL</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>発表会</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>植物の機能(3)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション、 植物の歴史と人類との関わり	澤野 頼子	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の構造	澤野 頼子	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の成長	澤野 頼子	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(1)	澤野 頼子	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(2)	澤野 頼子	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	PBL	澤野 頼子	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野 頼子	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(3)	澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	イントロダクション、 植物の歴史と人類との関わり	澤野 頼子																																																				
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の構造	澤野 頼子																																																				
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の成長	澤野 頼子																																																				
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(1)	澤野 頼子																																																				
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(2)	澤野 頼子																																																				
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	PBL	澤野 頼子																																																				
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野 頼子																																																				
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	植物の機能(3)	澤野 頼子																																																				
<p>授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。</p>																																																									
<p>授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。</p>																																																									
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25% 再評価: 有</p>																																																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									
<p>準備学習等についての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。</p>																																																									
<p>試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートをもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>																																																									
<p>参考書 植物生理学/三村徹郎, 鶴見誠二 編著, : 化学同人, 2009</p>																																																									

ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編.:オーム社, 2009

植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),.:培風館, 2017

新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,.:培風館, 2010

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000720																																																																	
科目名	主題別選択Ⅱ(フランス詩を読む)	科目ID	LA-310110-Z																																																															
担当教員	中島 ひかる[NAKASHIMA HIKARU]																																																																	
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																		
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7) 人間の心への理解を深める</p>																																																																		
主な講義場所 湯島																																																																		
授業の目的、概要等 ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。 詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。																																																																		
授業の到達目標 1) フランス詩のニュアンス・表現を味わう。 2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。																																																																		
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>序論(概要の説明) プレヴェール</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>ヴェルレーヌ等</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>アポリネール、ロンサーール</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>ランボー、ボードレー</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>マラルメ、ヴァレリー</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>ロマン派</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>現代詩(エリュアール、シュベルヴィエール)</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>フランス詩を読む</td> <td>レポート発表・意見交換</td> <td>中島 ひかる</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	序論(概要の説明) プレヴェール	中島 ひかる	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	アポリネール、ロンサーール	中島 ひかる	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ランボー、ボードレー	中島 ひかる	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリー	中島 ひかる	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	現代詩(エリュアール、シュベルヴィエール)	中島 ひかる	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	レポート発表・意見交換	中島 ひかる
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	序論(概要の説明) プレヴェール	中島 ひかる																																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる																																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	アポリネール、ロンサーール	中島 ひかる																																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ランボー、ボードレー	中島 ひかる																																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリー	中島 ひかる																																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる																																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	現代詩(エリュアール、シュベルヴィエール)	中島 ひかる																																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	フランス詩を読む	レポート発表・意見交換	中島 ひかる																																																												
授業方法 講義と演習による。 毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。																																																																		
授業内容 ロンサーール、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。 おおよその予定は以下の通りですが、受講者の興味や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。 1回目: 授業の概要説明、ジャック・プレヴェール																																																																		

<p>2 回目:ヴェルレーヌ等 3 回目:アポリネール・ロンサル 4 回目:ランボー・ボードレー 5 回目:マラルメ、ヴァレリー 6 回目:ロマン派 7 回目:現代詩 8 回目:レポート発表、意見交換</p>
<p>成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価:有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p> <p>授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 フランス名詩選/安藤元雄, 入沢康夫, 渋沢孝輔 編.:岩波書店, 1998 プリントを配付する(PDF でメールアドレス宛に配信します)。</p>
<p>参考書 珊瑚集: 仏蘭西近代抒情詩選/永井 荷風 訳.:岩波書店 上田敏全訳詩集/山内 義雄・ 矢野峰人 編.:岩波書店 悪の華/ボードレー 著,鈴木信太郎 著.:集英社 ヴァレリー詩集/ヴァレリー/著,鈴木 信太郎/訳.:岩波書店, 1979 月下の一群: 訳詩集/堀口大學 訳.:岩波書店, 2013 ロンサル詩集/ピエール・ド・ロンサル/[著],井上究一郎/訳.:岩波書店, 1989 ランボオ詩集/ランボオ [著],中原中也 訳.:岩波書店, 2013 地獄の季節/ランボー /作,小林秀雄/訳.:岩波書店, 2008 ヴェルレーヌ詩集/ヴェルレーヌ [著],堀口 大学 訳.:新潮社 アポリネール詩集/アポリネール/[著],堀口大学/訳.:新潮社, 1985</p>
<p>履修上の注意事項 Zoom はオンにして授業に出席して下さい。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 中島 ひかる:月曜 12:00~13:00 * メールでの問い合わせには随時応じます</p>

時間割番号	000721																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(現代社会と時間)	科目ID	LA-310540-Z																																								
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間：木曜2限 医学科・歯学科 募集人数：10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 ドイツの児童文学作家ミヒャエル・エンデの『モモ』に登場する「灰色の男たち」(時間泥棒)は、つぎのように語る。「人間の時間を手中に収めれば、無限の権力を握ることができる」と。だが、時間はどのような意味で権力と言えるのだろうか。また、私たちは毎日のように時間に追われる生活を送っているが、たとえば時間を節約するとはどういうことだろうか。そもそも節約などできるのだろうか。同じ1時間を長く感じたり短く感じたりするのはなぜだろうか。さらに、現代社会において自明なものとして表象される直線的な時間は、時間というものを適切に捉えているのだろうか。時間を直線として、すなわち様々な時点が並列した秩序として捉えることは、時間ではなく空間的なものを想定しているのではないだろうか。時点とは本来、そのつど生成しては消滅してゆく今(現在)を意味するはずであり、そうした意味での今は、点として他の点と並んで残り続けるようなものとは対極をなすものではないだろうか。この授業では、私たちが自明視している時間概念に疑いの眼差しを向けることを通じて時間の本性に迫るとともに、とくに時間と社会との密接なつながりについて考察したい。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に関する基礎概念を身につける。 ・主観的時間と客観的時間との関係を理解する。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。 																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 演習形式、アクティブラーニング</p>																																											
<p>授業内容 主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。現代社会と時間に関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)時計時間 (2)権力としての時間 (3)量としての時間 (4)直線としての時間 (5)社会と時間 																																											
<p>成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 0%・その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100%</p>																																											

再評価： 有(レポートの予定)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 配布された文献は、次回までに精読しておいてください。
教科書 とくに必要ありません。
参考書 M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005年)、 伊藤美登里『現代人と時間——もうみんないっしょではいられない』学文社(2008年)、 西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006年)、 橋本毅彦・栗山茂彦編著『遅刻の誕生——近代における時間意識の形成』三元社(2001年)、 内山節『時間についての二章——哲学における時間の問題』岩波書店(2011年)、 B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997年)、 J.リフキン『タイムウォーズ』等
履修上の注意事項 コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000722																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(ドロモロジーと人間)	科目ID	LA-310541-Z																																													
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																															
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間：木曜2限 医学科・歯学科 募集人数：10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 情報革命は時間と空間を極度に圧縮することによって、それ以前の革命とはまったく異なる質的变化を個人と社会に引き起こした。P・ヴィリリオはこのような変化を「速度」という観点から考察し、「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の前方へと追い立てる強制力を「ドロモロジー」と呼んでいる。これは、「今・ここ」という現在を「いつか・どこか」という未来へと総動員することによって、「今・ここ」という現在を収奪することを意味している(「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の為に生きること)。この授業では、国家や政治や社会の体制を、それゆえ社会的存在たる人間の生き方をその内部から規定し突き動かす「ドロモロジー」の原理とその派生的問題について、主として時間の観点から考察し、現代社会における人間の生の意味を問うてみたい。</p>																																																
<p>授業の到達目標 ・ドロモロジーの基本構造について、社会制度(や制度が生み出す問題)と関わらせて理解する。 ・「今・ここ」(現在)の意味を問い直すことができる。 ・部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>飯田 卓 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	飯田 卓 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 演習形式、アクティブラーニング</p>																																																
<p>授業内容 主として、文献講読もしくは受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げたような文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。 (1)前望構造 (2)進歩史観 (3)ドロモロジー (4)生のユーティリティ化 (5)生きられる現在</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 0%・その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100% 再評価：有(レポートの予定)</p>																																																

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。

参考書

P.ヴィリリオ『瞬間の君臨——リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論(2003年)、

P.ヴィリリオ『速度と政治——地政学から時政学へ』平凡社(2001年)、

古東哲明『瞬間を生きる哲学——〈今ここ〉に佇む技法』筑摩書房(2011年)、

古東哲明『ハイデガー＝存在神秘の哲学』講談社現代新書(2002年)、

佐藤透『人生の意味の哲学——時と意味の探求』春秋社(2012年)、

J・レフキン『タイムウォーズ』早川書房(1989)、

鷺田清一『だれのための仕事』講談社学術文庫(2011年)、

鷺田清一『「待つ」ということ』角川選書(2006年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000723			
科目名	主題別選択Ⅱ(昆虫にみられる社会性の進化)	科目ID	LA-310542-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>				
授業の目的、概要等				
<p>ヒトは社会を高度に発達させ、現代まで繁栄してきた。社会性は哺乳類に限られた機構ではなく、実際には様々な分類群で見られる。そのなかでも昆虫は、最も社会性を多様に進化させた分類群の 1 つである。昆虫には親が子を守り育てる亜社会性から、繁殖階級と労働階級が分業する真社会性まで、多様な社会性の機構が存在する。そのなかでは、個体間の協働や繁殖競争などの特徴的な生態が見られる。本講義では真社会性を持つハチやアリの仲間を中心に、昆虫の多様な社会性とその進化について紹介する。彼らの社会とヒトの社会を比較し、その共通点と相違点について学ぶ。</p>				
授業の到達目標				
<p>昆虫をはじめとした生物にみられる社会の多様性について理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
授業方法				
<p>講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>				
授業内容				
<p>第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の多様化</p>				
成績評価の方法				
<p>評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。</p>				
教科書				
<p>指定なし。</p>				
参考書				
<p>・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版)2012</p>				

・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993

・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000724			
科目名	主題別選択Ⅱ(昆虫の社会性の維持機構)	科目ID	LA-310543-Z	
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>				
授業の目的、概要等				
<p>社会性を持つ生物は個体間で協力行動をとる。この協力行動は単なる自己犠牲ではなく、自己の利益に繋がる適応的な行動という側面を持つ。ヒトが制度や法令に従って社会を維持することと同様に、他の生物も彼らの社会性を維持するための機構を持つ。本講義では昆虫のなかでも高度に社会性を進化させたハチ・アリ類を中心に、社会性の維持機構を紹介する。彼らがどのような制度に従うことで社会性を維持し得るのか、何が社会性を崩壊させる脅威になり得るのかを理解することで、ヒトが自らの社会を安定的に維持するためのヒントを学ぶ。</p>				
授業の到達目標				
<p>昆虫をはじめとした生物の社会性の維持機構とその崩壊要因について理解を深める。そこから、ヒトが社会で生きる上での制度の重要性を学ぶ。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	山崎 和久, 奈良 雅之
授業方法				
<p>講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>				
授業内容				
<p>第1-4回:社会性の成り立ち 第5-7回:社会性の維持と制度のかかわり</p>				
成績評価の方法				
<p>評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。</p>				
教科書				
<p>指定なし。</p>				

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3 分の 2 以上の出席を前提 とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000725			
科目名	主題別選択Ⅱ(微分方程式演習)	科目ID	LA-310120-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が7割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価:試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹:毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス4階				

時間割番号	000726																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(タンパク質科学の光と影)	科目ID	LA-310122-Z																																													
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																															
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める。</p> <p>2000字以上のレポートとしてまとめられることが、GPAにおける「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加してほしいと思います。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート80%</p> <p>その他(授業への参加度20%)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																																
<p>成績評価の基準</p>																																																

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習: 配付資料に目を通してください。 復習: 興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
参考書 タンパク質の生命科学 : ポスト・ゲノム時代の主役 / 池内俊彦 著, : 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学 : 構造・機能・ゲノミクス / Arthur M. Lesk 著, 高木淳一 訳, : 化学同人, 2007 入門構造生物学 : 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く / 高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編, : 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能 : カラー図説 / グレゴリー A. ベツコ / 著, ダグマール リンゲ / 著, 横山 茂之 / 監訳, 宮島 郁子 / 訳, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000729																																																																	
科目名	主題別選択Ⅱ(危険物の科学)	科目ID	LA-310126-Z																																																															
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																																	
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																		
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。</p>																																																																		
<p>授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解し、レポートにまとめることができる。 GPAにおける「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>化学物質と法律</td> <td>化学物質と法律についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>燃焼について</td> <td>燃焼についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>消火法について</td> <td>消火法についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>危険物とは</td> <td>危険物についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>第1類~第3類について</td> <td>第1類~第3類についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>第4類~第6類について</td> <td>第4類~第6類についての講義を行う。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>グループディスカッション</td> <td>グループワークを行い、学生同士で安全について議論する。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワークの成果を発表する。</td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	化学物質と法律	化学物質と法律についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	燃焼について	燃焼についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	消火法について	消火法についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	危険物とは	危険物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第1類~第3類について	第1類~第3類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第4類~第6類について	第4類~第6類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	グループディスカッション	グループワークを行い、学生同士で安全について議論する。	勝又 敏行, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション	グループワークの成果を発表する。	勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	化学物質と法律	化学物質と法律についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	燃焼について	燃焼についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	消火法について	消火法についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	危険物とは	危険物についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第1類~第3類について	第1類~第3類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第4類~第6類について	第4類~第6類についての講義を行う。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	グループディスカッション	グループワークを行い、学生同士で安全について議論する。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	プレゼンテーション	グループワークの成果を発表する。	勝又 敏行, 奈良 雅之																																																												
<p>授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																																		
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類~第2類の性質、事故事例等 5. 第3類~第4類の性質、事故事例等 6. 第5類~第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論 																																																																		
<p>成績評価の方法</p>																																																																		

評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50%
レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,:共立出版, 2009

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000730			
科目名	主題別選択Ⅱ(老化と寿命)	科目ID	LA-310128-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATSUTORI ATSUIHIKO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。 				
授業の目的、概要等				
<p>「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は、環境さえ良ければ無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。</p>				
授業の到達目標				
生命科学のトピックス(加齢現象)について理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	服部 淳彦, 奈良 雅之
授業方法				
セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容				
<p>老化現象と老化の原因(概要)</p> <p>骨と筋の老化</p> <p>感覚器(視覚・聴覚)の老化</p> <p>皮膚の老化</p> <p>脳の老化</p> <p>血管の老化</p> <p>老化と遺伝子</p> <p>老化と環境要因</p> <p>抗加齢医学</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000732																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(民主主義を再考する)	科目ID	LA-310132-Z																																													
担当教員	藤井 達夫[FUJII TATSUO]																																															
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間：木曜 2 限 対象学科：医・歯学科 募集人数：25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-4)、3-5)</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 民主主義は今、危機にあります。その危機は二つの方面から到来しています。一つは、民主主義国の国内から。欧米の民主主義諸国は軒並みポピュリズム化し、権威主義的自由主義に飲み込まれつつあります。もう一つは、中国をはじめとする非民主主義国の台頭です。非民主主義的権威主義国家の国際社会でのプレゼンスの増大は、外側から民主主義諸国を動揺させ始めています。「もしかして、民主主義は時代遅れなのか？」と。そこで、民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、世界のそして日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。批判の焦点は近代民主主義の制度的基礎である代表制度——選挙と政党——です。そしてポスト代表制度の民主主義はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。</p>																																																
<p>授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	藤井 達夫, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																																
<p>授業内容 第1回 今の政治に満足か？——中国的統治モデルの誘惑—— 第2回 古代の民主主義——クジと非支配 第3回 近代民主主義①——国民主権 第4回 近代民主主義②——代表制度 第5回 代表制度と選挙——その黄金期の社会的条件 第6回 代表制度の行き詰まりとその病理——ポピュリズムと二つの権威主義 第7回 ポスト代表制度の民主主義を構想する——参加と熟議 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

藤井達夫『平成の正体』(イースト新書、2018年)

参考書

齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017年)

水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016年)

待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015年)

ヴァン・レイブルック『選挙制を疑う』(法政大学出版局、2019年)

S.レビツキー、D.ジブラット『民主主義の死に方』(新潮社、2018年)

中村淳彦・藤井達夫『日本が壊れる前に』(亜紀書房、2020年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000733																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(英語で学ぶヒトの脳と言語)	科目ID	LA-310134-Z																																													
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																															
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜・2限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科:医・歯学科</p> <p>募集人数:25人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表1-7)人間の心への理解を深める。</p> <p>別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見も紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行い、言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学び、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。</p> <p>(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p> <p>(3) 言語と脳に関する英語の文献を読み、議論する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>初回から何度か講義を行う。以降は受講生が選んだテーマをもとに論文紹介と討論を行う。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>6月3日 Overview of the human language</p> <p>6月10日 Language circuits in the brain</p> <p>6月17日 Language acquisition</p> <p>6月24日 Critical period for language learning</p> <p>7月1日 Second-language and sign language</p> <p>7月8日 Animal behavior similar to language</p> <p>7月15日 Comparison between bird song and human language</p> <p>9月2日 Comparison between behavior of primates and human language</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 0%・レポート(英語) 60%・その他(論文紹介・討論) 40%</p> <p>再評価: 有(レポート提出)</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

講義回の予習は求めませんが、授業の理解が難しい場合は、参考文献で復習してください。1人最低 1 本の論文を紹介してもらうため、早めに興味を絞って読む論文を決めておいてください。テーマの選択や論文検索については、適宜相談にのります。

教科書

指定しない

参考書

Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2012 McGraw-Hill.

その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000734					
科目名	主題別選択Ⅱ(中国語と中国文化)	科目ID	LA-310544-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2021年度前期	対象年次	3			
実務経験のある 教員による授業						
<p>・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>言語は文化のキャリアーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。</p>						
授業の到達目標						
授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化	諧音による置換と縁起かつぎ 諧音と言葉の改造	BAO MIN
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第2回 漢字と中国文化	文字に関する迷信と崇拝について 漢字から見た古代女性の社会的地位	BAO MIN
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第3回 中国語の語彙と中国文化	語彙と科挙制度 語彙および特有の思想、観念	BAO MIN
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第4回 中国語の文法と中国文化	中国語の語彙の兼類現象 中国語の対句芸術と民俗	BAO MIN
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第5回 中国語の数字と中国文化	中国語の中の数字文化	BAO MIN
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第6回 氏名・別称・地名と中国文化	中国人の姓氏と姓氏観念 地名と文化	BAO MIN
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	第7回 中国語と中国の生活風俗	食の問題及び関連する言語現象、婚姻と婚姻に関連する言語現象、まとめ	BAO MIN
授業方法						
<p>講義と演習による。</p> <p>事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。</p>						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化						

<p>第2回 漢字と中国文化</p> <p>第3回 中国語の語彙と中国文化</p> <p>第4回 中国語の文法と中国文化</p> <p>第5回 中国語の数字と中国文化</p> <p>第6回 氏名・別称・地名と中国文化</p> <p>第7回 中国語と中国の生活風俗</p> <p>第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%</p> <p>再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社</p> <p>プリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著, 武田, 雅哉, 1958-, 加部, 勇一郎, 1973-, 田村, 容子, 1975-, : ミネルヴァ書房, 2016</p> <p>テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著, 湯浅, 邦弘, 宮本, 一夫, 横田, 恭三, 中村, 未来, 佐藤, 一好, 宇田川, 幸則, 古田, 茂美, 浅見, 洋二, 谷口, 高志, 草野, 友子, 福田, 一也, 鶴成, 久章, 椛島, 雅弘, 川野, 明正, 近藤, 浩之, 渡邊, 英幸, 町, 泉寿郎, 合山, 林太郎, 陶, 徳民, 柿沼, 陽平, : ミネルヴァ書房, 2016</p> <p>中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳, 北京放送局日本語部, 王, 丹丹, : 科学出版社東京, 2016</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000735					
科目名	主題別選択Ⅱ(中国社会的現在)	科目ID	LA-310545-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2021年度前期	対象年次	3			
実務経験のある 教員による授業						
<p>曜日・時間:木曜2限・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>別表3-5)国際情勢を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。						
授業の到達目標						
授業を通して、中国社会を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/3	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第1回 授業の概要説明	オリエンテーション、トピック の担当を決める	BAO MIN
2	6/10	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第2回 中国の素顔	習近平時代の中国社会の 全貌	BAO MIN, 奈良 雅之
3	6/17	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第3回 岐路に立つ米中関係	“アメリカVS中国”未来の覇 権争い、米中貿易戦争	BAO MIN, 奈良 雅之
4	6/24	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第4回 一带一路の大望とリス ク	巨大経済圏構想の実態	BAO MIN, 奈良 雅之
5	7/1	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第5回 一国二制度の行方	香港問題の背景	BAO MIN, 奈良 雅之
6	7/8	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第6回 14億人の消費革命	中国におけるネット社会の 行方	BAO MIN, 奈良 雅之
7	7/15	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第7回 報告会	課題に関する報告	BAO MIN, 奈良 雅之
8	9/2	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	第8回 まとめ	意見交換	BAO MIN, 奈良 雅之
授業方法						
講義と演習による。						
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、担当を決める。						
第2回 中国の素顔						
第3回 岐路に立つ米中関係						
第4回 一带一路の大望とリスク						

<p>第5回 一国二制度の行方 第6回 14億人の消費革命 第7回 報告会 第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 :明石書店 :小学館</p>
<p>参考書 現代中国を知るための 52 章／藤野彰 編著,藤野, 彰, 1955-,:明石書店, 2018 習近平が変えた中国／天児慧 編著,茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著,天児, 慧, 1947-,茅原, 郁生, 1938-,関, 志雄, 1957-,佐藤, 考一, 1960-,:小学館, 2018 幸福な監視国家・中国／梶谷懐, 高口康太 著,梶谷, 懐, 1970-,高口, 康太, 1976-,:NHK 出版, 2019 中国「強国復権」の条件 : 「一帯一路」の大望とリスク／柯隆 著,柯, 隆, 1963-,:慶應義塾大学出版会, 2018</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000736																																																		
科目名	主題別選択Ⅱ(医歯系のための物理)	科目ID	LA-310117-Z																																																
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																																		
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																
実務経験のある教員による授業																																																			
<p>曜日・時間:木曜2限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4)別表4-2)</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。</p>																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>医歯学に関係した物理を習得する。</p> <p>各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 1:力学</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 2:流体</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 3:熱</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 4:音</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 5:光</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 6:磁気</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>医歯系のための物理 7:放射線</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 1:力学	檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 2:流体	檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 3:熱	檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 4:音	檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 5:光	檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 6:磁気	檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 7:放射線	檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																														
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 1:力学	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 2:流体	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 3:熱	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 4:音	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 5:光	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 6:磁気	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	医歯系のための物理 7:放射線	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																														
<p>授業方法</p> <p>講義と演習</p>																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ 																																																			
<p>成績評価の方法</p> <p>授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																																			
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																			
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																			
<p>試験の受験資格</p>																																																			

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015
物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。

備考

2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000737																																																								
科目名	主題別選択Ⅱ(人体・医療の物理)	科目ID	LA-310118-Z																																																						
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																																								
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																																						
実務経験のある 教員による授業																																																									
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。</p>																																																									
<p>授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。 各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>力学と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>流体と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>熱と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>音と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>光と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>磁気と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>放射線と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>まとめ</td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	力学と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	流体と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	熱と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	音と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	光と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	磁気と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	放射線と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	まとめ	檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																				
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	力学と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	流体と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	熱と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	音と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	光と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	磁気と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	放射線と人体・医療	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	まとめ	檜枝 光憲, 奈良 雅之																																																				
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																									
<p>授業内容 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療</p>																																																									
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。 評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無</p>																																																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																									

<p>試験の受験資格</p> <p>試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要</p>
<p>参考書</p> <p>生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。</p>
<p>備考</p> <p>2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3</p>

時間割番号	000738																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(日本とドイツの思想:入門)	科目ID	LA-310546-Z																																								
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>前期前半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数:2年生とあわせて20人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-4)異なる空間の文化を理解する 別表3-4)外国文化を理解する 																																											
<p>主な講義場所</p> <p>Zoomでの遠隔授業;(湯島キャンパス 3号棟4階演習室4-11, 12)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本で暮らしたドイツ人哲学者が、ドイツの読者に向けて書いた Japanisches Denken (『日本の思想』)という本を、原文で読んでいきます。 原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。 時間数が少ないため、第1章の「神道」についての章だけを読むことになると思います。ある程度読めたら、著者の「神道」に関する理解と、自分たちの理解の違いについて議論できれば、と思います。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>ドイツ人哲学者が、日本の思想についてどのようにドイツ語でドイツの読者に伝えようとしたかを考えることが目標です。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>日本とドイツの思想:入門1</td> <td>オリエンテーション。Vorwort (5ページ)を読む。</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってくること。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>日本とドイツの思想:入門2</td> <td>本文:“Japanische Weltanschauung”を読み始める。 (9ページ~)</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>日本とドイツの思想:入門3</td> <td>本文を読み進める。</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05- 10:55</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>日本とドイツの思想:入門4</td> <td>本文の続きを読む。</td> <td>SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之</td> <td>辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/8	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門1	オリエンテーション。Vorwort (5ページ)を読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。	2	4/15	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門2	本文:“Japanische Weltanschauung”を読み始める。 (9ページ~)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。	3	4/22	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門3	本文を読み進める。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。	4	5/6	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門4	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																				
1	4/8	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門1	オリエンテーション。Vorwort (5ページ)を読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。																																				
2	4/15	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門2	本文:“Japanische Weltanschauung”を読み始める。 (9ページ~)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。																																				
3	4/22	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門3	本文を読み進める。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。																																				
4	5/6	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思想:入門4	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。																																				

5	5/13	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思 想:入門 5	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
6	5/20	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思 想:入門 6	本文の続きを読む。(～15 ペ ージ? 17 ページ?)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
7	5/27	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	日本とドイツの思 想:入門 7	今まで読んだところについての 試験。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。今まで 読んだところを 復習しておくこ と。

授業方法

セミナー形式: 毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。

授業内容

初回: オリエンテーション: 原文のコピーを配り、いきなり序文を読みます。著者についてドイツ語で説明があるからです。
第2回から第6回まで: 本文の第1章を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。
第7回: 到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。
試験が 50 パーセント。
再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

- ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくのとよいです。他の参考書も活用するとよいです。
- ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。
- ・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Japanisches Denken : der weltanschauliche Hintergrund des heutigen Japan / Robert Schinzinger: Erich Schmidt, 1983
ドイツの本で古いので、購入はせず、
コピーを配ります。

参考書

新現代独和辞典 / ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008
アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch / 根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010
代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いため、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。 受講者が 5 人以下の場合、最終回の試験の代わりに、 毎回訳し終わったところまでを 次の週までに清書して提出してもらい「課題提出」に変更する可能性があります。 初回に詳しい説明をします。

備考

連絡先(メールアドレス)

SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000739						
科目名	主題別選択Ⅱ (Leben und Werke を読む)	科目 ID	LA-310547-Z				
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある 教員による授業							
<p>前期後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数: 2 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-4) 異なる空間の文化を理解する 別表 3-4) 外国文化を理解する 							
<p>主な講義場所</p> <p>Zoom での遠隔授業;(湯島キャンパス 3号棟4階演習室4-11, 12)</p>							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本で暮らしたドイツ人哲学者が、日本の読者に向けてドイツ語で書いた Leben und Werke という本を、原文で読んでいきます。 原文を読む授業なので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません。 時間数が少ないため、第1章の彼の半生の一部分だけを読むことになると思います。</p>							
<p>授業の到達目標</p> <p>19 世紀末からのドイツでの生活を知り理解することを目的とします。 そこまで読んだ内容が理解できているか確認するため、最終回に試験を行います。</p>							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/3	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 1	オリエンテーション。本文: Vita を読み始める。(9 ページ ~)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。
2	6/10	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 2	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
3	6/17	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 3	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
4	6/24	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 4	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってく ること。指定さ れたところまで 予習してくるこ と。
5	7/1	10:05-	遠隔授業	Leben und Werke	本文の続きを読む。	SCHINZIN	辞書を持ってく

		10:55	(同期型)	を読む 5		GER EMI, 奈良 雅之	ること。指定されたところまで予習してくること。
6	7/8	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 6	本文の続きを読む。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	7/15	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 7	本文の続きを読む。(～17 ページ? 18 ページ?)	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	9/2	10:05- 10:55	遠隔授業 (同期型)	Leben und Werke を読む 8	読んだところについての試験。	SCHINZIN GER EMI, 奈良 雅之	辞書を持ってくること。読んだところまでを復習しておくこと。

授業方法

セミナー形式: 毎回原文を読んで訳してもらい、理解できているか確認していきます。その後その内容について話し合います。

授業内容

初回: オリエンテーション: 原文のコピーを配り、最初の部分を読みます。

第2回から第7回まで: 本文を辞書を使って訳していきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。ある程度読んだら、理解できているか内容について話し合います。

第8回: 到達したところまで理解できているか確認するため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

試験が 50 パーセント。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書も活用するといいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

・毎回訳していきますので必ず電子辞書か独和辞典を持ってきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Robert Schinzinger 著

Leben und Werke

古い本ですのでコピーを配ります。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆, 根本, 道也, 恒吉, 良隆, 吉中, 幸平, 成田, 克史, 福元, 圭太, 重竹, 芳江, 有村, 隆広, 新保, 彌彬, 本田, 義昭, 鈴木, 敦典, : 同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-SX7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出欠を取ります。毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。毎回指定された範囲を予習してきてください。受講者が5人以下の場合、最終回の試験の代わりに、毎回訳し終わったところまでを清書して次の週までに提出してもらい「課題提出」に変更する可能性があります。初回に詳しい説明があります。

連絡先(メールアドレス)

SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3階研究室

時間割番号	000740			
科目名	主題別選択Ⅱ(小説の言語と演劇の言語)	科目ID		
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断することも少なくない。ある程度文化的な背景を共有していれば、やはり非言語的感覚の共有によって意思の疎通が可能になるだろう。そこで本授業では、小説と戯曲(演劇脚本形態の文学作品)の両方を精読することによって、言語以外の情報がない小説の「言語」と、身体表現によってさまざまな情報が補われる演劇の「言語」を比較、分析する。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>				
授業の到達目標				
<p>①日本近代文学を代表する小説と戯曲の両方を読む。 ②精読を通し、小説と戯曲の中の「言語」について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
授業方法				
<p>扱う作品を精読して授業に臨むこと。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。</p>				
授業内容				
<p>1)ガイダンス 2)芥川龍之介『舞踏会』① 3)芥川龍之介『舞踏会』② 4)『舞踏会』の戯曲化 5)『舞踏会』の戯曲化 6)三島由紀夫『鹿鳴館』① 7)三島由紀夫『鹿鳴館』② 8)総括</p>				
成績評価の方法				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
成績評価の基準				
<p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など)40% 再評価: 有(再レポート)</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
作品の精読、コメントシートなど課題。期日を守って提出すること。				
試験の受験資格				

<p>3分の2以上の授業に出席していること。 10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書 鹿鳴館／三島由紀夫：新潮社，1984 授業内で指示。</p>
<p>参考書 授業内で指示。</p>
<p>履修上の注意事項 授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取ることを出欠を優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考 毎回のリアクションペーパーや課題を遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2階 ※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。</p>

時間割番号	000741																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(ネーションとマイノリティの関係史)	科目ID																																									
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]																																										
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限</p> <p>受講資格:医学科, 歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>3-4) 外国文化を理解する</p> <p>3-5) 国際情勢を理解する</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>20世紀の危機を集中的に表現している総力戦時代のドイツ・中欧地域におけるネーションとマイノリティの問題を歴史的にたどり、現代世界でも頻繁に起こっている民族・宗教紛争を捉える基本的な視角を提示します。具体的には、多民族的国家オーストリア-ハンガリー帝国におけるドイツ人とチェコ人の関係が、第一次世界大戦後にチェコスロヴァキアという新しい国民国家が成立し、展開する過程でどのように変容し、ナチ・ドイツの支配と第二次世界大戦によっていかにして清算されていくのか、その過程を明らかにします。このケーススタディを通してネーションとマイノリティに関わる現代世界の成り立ちの一端を知ることができるでしょう。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>1. ドイツ・中欧地域の歴史的な具体的事例をもとに、ネーションとマイノリティの関係史を比較史的・構造史的に捉えられるようにします。</p> <p>2. ナショナリズムの基本的問題を具体的な事例で知ることによって、現代の国際社会・国際紛争を見る視点を培います。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/6</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/13</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/20</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/27</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義, ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>1. ネーションとマイノリティ</p> <p>2. ハプスブルク帝国における民族間関係</p> <p>3. ドイツ・中欧国民国家体制の再編</p> <p>4. パリ講和会議とマイノリティ保護条約</p> <p>5. 戦間期国民国家とマイノリティ</p> <p>6. ナチ・ドイツの占領統治</p> <p>7. 離散と抵抗: 中欧マイノリティ問題の清算</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: レポート 70%, 出欠, コメントシートなどの授業への参加度 30%</p> <p>知識の確実な習得を重視する。再評価 有(レポート)</p>																																											

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>本シラバスに「参考書」として挙げた文献，授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。</p>
<p>教科書</p> <p>とくになし。授業当日にプリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>塩川伸明『民族とネイション——ナショナリズムという難問』（岩波新書，2008） M. マゾワー『暗黒の大陸——ヨーロッパの20世紀』中田瑞穂・網谷龍介訳（未来社，2015） 大津留 厚 編『「民族自決」という幻影——ハプスブルク帝国の崩壊と新生諸国家の成立』（昭和堂，2020）この他，参考書などは授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠については，出欠管理システムの記録と，教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード：ハプスブルク帝国，ナショナリズム，ネイション，マイノリティ</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>相馬 保夫:y.soma.las@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	000742			
科目名	主題別選択Ⅱ(発がんと確率過程)	科目ID		
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
がん細胞は体細胞の遺伝子に変異が蓄積することによって生じる。遺伝子の変異は偶然によって生じる確率的な事象である。確率的な現象の時間発展は確率過程として記述される。この講義では発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析する手法について説明する。				
授業の到達目標				
発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析するために必要な理論について理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
2	4/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
3	4/22	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
4	5/6	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
5	5/13	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
6	5/20	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
7	5/27	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスを体細胞の遺伝子に突然変異が蓄積する確率的な事象として捉え、その時間発展である確率過程の理論について説明する				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。各自しっかりと復習すること。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000743			
科目名	主題別選択Ⅱ(視覚情報と言語)	科目ID		
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]			
開講時期	2021年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断材料を得ようとすることが多い。ではその情報を得られない人には、どのように伝えるのか。本授業では、目の見えない人物が登場する文学作品から「言語による情報のみで表現する」場合と、「言語を含む情報で表現する」場合の、作家の言語の扱いについて考察する。可能であれば、授業内で「見えない」状況を作り、それを言語のみで正しく伝える試みも企画している。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>				
授業の到達目標				
<p>①古典と日本近代文学を代表する作品の両方を読む。 ②「言語」とそれ以外の機能について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子, 奈良 雅之
授業方法				
<p>扱う作品を精読して授業に臨むこと。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課する。</p>				
授業内容				
<p>1)ガイダンス 2)謡曲「弱法師」 3)謡曲「弱法師」 4)説経節「しんとく」 5)三島由紀夫「弱法師」① 6)三島由紀夫「弱法師」② 7)総括</p>				
成績評価の方法				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
成績評価の基準				
<p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など)40% 再評価: 有(再レポート)</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
作品の精読、コメントシートなど課題。期日を守って提出すること。				
試験の受験資格				
<p>3分の2以上の授業に出席していること。 10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>				
教科書				

<p>近代能楽集／三島由紀夫:新潮社</p> <p>授業内で指示。</p>
<p>参考書</p> <p>授業内で指示。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。 出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取ること優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考</p> <p>毎回のリアクションペーパーや課題を遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階</p> <p>※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。</p>

時間割番号	000744																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(ジェノサイドの論理と心理)	科目ID																																														
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]																																															
開講時期	2021年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜2限 受講資格:医学科, 歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 3-4) 外国文化を理解する 3-5) 国際情勢を理解する</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 ジェノサイド(大量虐殺)とは、ナチ・ドイツによるユダヤ人大量虐殺(ホロコースト)という未曾有の犯罪を経て第二次世界大戦後、とくに1948年に国連で採択されたジェノサイド条約(集団殺害罪の防止および処罰に関する条約)を契機として使われるようになった言葉です。そこでは、ジェノサイドは、「国民的、民族的、人種的または宗教的な集団の全部または一部をそれ自体として破壊する意図をもって行われる行為」をさし、それには集団を殺害すること以外に精神的・身体的な危害を加えることも含まれています。ここでは、さまざまなジェノサイドとの比較を射程に入れながら、この条約の基になったナチ・ドイツのユダヤ人大量虐殺の行為者(アクター)の論理と心理に歴史的に迫ることとします。</p>																																																
<p>授業の到達目標 1. ジェノサイドを歴史的・比較類型的に捉えることによって、現代世界におけるジェノサイド現象について理解を深めます。 2. ナチ・ドイツによるユダヤ人大量虐殺の行為者(アクター)の論理と心理を比較検討することによって、現代世界におけるジェノサイドの予防に何が必要かを理解する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/3</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/1</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/8</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/15</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>相馬 保夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之	8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義, ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。</p>																																																
<p>授業内容 1. ジェノサイドとは? 2. ジェノサイドの諸類型 3. ナチ・ジェノサイドの前提 4. ナチ・ジェノサイドの論理 5. 「ゲルマン大帝国」構想 6. ナチ・ジェノサイドの心理(1) 7. ナチ・ジェノサイドの心理(2) 8. 総括</p>																																																

<p>成績評価の方法</p> <p>評価:レポート 70%, 出欠, コメントシートなどの授業への参加度 30%</p> <p>知識の確実な習得を重視する。再評価 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。</p>
<p>教科書</p> <p>とくになし。授業当日にプリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>ジェーン・スプリングー『1冊で知る虐殺(ジェノサイド)』石田勇治監修, 築地誠子訳(原書房, 2010)</p> <p>石田勇治・武内進一編『ジェノサイドと現代世界』(勉誠出版, 2011)</p> <p>クリストファー・R・ブラウニング『普通の人びと——ホロコーストと第 101 警察予備大隊』増補版, 谷 喬夫訳(筑摩書房, 2019)</p> <p>ゼンケ・ナイツェル/ハラルト・ヴェルツァー『兵士というもの——ドイツ兵捕虜盗聴記録に見る戦争の心理』小野寺拓也訳(みすず書房, 2018)</p> <p>フィリップ・サンズ『ニュルンベルク合流——「ジェノサイド」と「人道に対する罪」の起源』園部 哲訳(白水社, 2018)</p> <p>パスカル・ボニファス/ユベール・ヴェドリーヌ『最新世界紛争地図』神奈川夏子訳(ディスカヴァー, 2020)</p> <p>この他, 参考書などは授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード:ジェノサイド, ホロコースト, ナショナリズム, レイシズム</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>相馬 保夫:y.soma.las@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	000745			
科目名	主題別選択Ⅱ(数理で理解する発がん)	科目ID		
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
分子生物学の発展によって発がんのプロセスの詳細は分子のレベルで明らかとなりつつあるが、がん細胞が生体内で発生してから臨床的にがんと診断されるまでには、がん細胞が増殖し、周囲の細胞へ影響を与え、また免疫細胞から逃れたり、複雑なプロセスを経る必要があり、いまだに不明な点が数多く残されている。発がんのプロセスの全容を解明するためには、分子生物学だけでなく様々な視点から発がんのプロセスを捉えることが必要である。この講義では数理科学的な観点から発がんのプロセスを理解するための理論について解説する。				
授業の到達目標				
がん細胞の発生、増殖、がん組織の進展など発がんのプロセスの諸過程を記述する数理モデルについて、その理論を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/3	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
2	6/10	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
3	6/17	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
4	6/24	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
5	7/1	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
6	7/8	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
7	7/15	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
8	9/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)	中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスの諸過程を数理モデルで記述し、解析手法について解説する。				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。復習を各自しっかりと行うこと。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

主題別人文社会科学セミナー・講義

● 医学科・歯学科(3年生):2021年度 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

		3時限(11:10~12:00) ※Zoomによる実施															
		文化			生命			言語			制度			時間			
月日	曜日	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
4月8日	木	オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション			オリエンテーション			
4月15日	木	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	
4月22日	木																2
4月22日	木																3
5月6日	木																4
5月13日	木																5
5月20日	木																6
5月27日	木																7
6月3日	木	8															
6月10日	木	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	
6月17日	木																2
6月24日	木																3
7月1日	木																4
7月8日	木																5
7月15日	木																6
7月22日	木																7
8月26日	木	予備日															
9月2日	木	予備日															
9月30日	木	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	
10月7日	木																2
10月14日	木																3
10月21日	木																
10月28日	木	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	
11月4日	木																4
11月11日	木																5
11月18日	木																6
11月25日	木																7
11月25日	木	総括セミナー(オンデマンド)			総括セミナー(オンデマンド)			総括セミナー(オンデマンド)			総括セミナー(オンデマンド)			総括セミナー(オンデマンド)			
12月2日	木	合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
12月9日	木	総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
12月16日	木	総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
12月23日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			
1月13日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			
1月20日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
1月27日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
2月3日	木	予備日															

時間割番号	000801																																																																																																						
科目名	人文社会科学講義(医療と社会)	科目ID	LA-310201-Z																																																																																																				
担当教員	三枝 七都子[SAIGUSA Natsuko]																																																																																																						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3																																																																																																				
実務経験のある 教員による授業																																																																																																							
<p>曜日・時間:木曜 3 限 11:10-12:00 対象学科:医学部医学科・歯学部歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																																																							
<p>授業の目的、概要等 医療は医療従事者と患者間の個人的なかかわりであると同時に、社会的な意義を有するものでもあります。この授業では、医療社会学という領域であつかわれてきた主題を通して、1. 医療従事者と患者間のかかわりがどのような特徴を持つのか、2. 医療が社会の中で如何にして機能し、そしてそれがどのような社会問題と結びついているのかなどを学びます。具体的には、前半の講義では医療を社会学的な視点で見ることの意義を説明した上で、日本の医療制度の概要について学びます。後半の講義では、医療にまつわる具体的なトピックを取り上げ、受講者同士の議論も交えながら、医療的な視点にとどまらない多角的な視点で事象を捉えていくことに挑戦していきます。</p>																																																																																																							
<p>授業の到達目標 1) 医療が社会の内部で機能するものであることを理解し、社会にあたる/または社会から受ける影響を説明できる。 2) 現在の医療が抱える問題点・課題について、その解決に向け、多角的な視点から考察し議論することができる。 3) 「あたりまえ」のものを見方を問い直すことができる。</p>																																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/22</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/6</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/13</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/20</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/27</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/3</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/10</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/17</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/24</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/1</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>15</td><td>9/2</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/30</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/7</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/14</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/28</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子	19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																			
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子																																																																																																			

20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子
22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	三枝 七都子, 木谷 真紀子
授業方法				
授業は講義と議論のハイブリットでおこないます。議論の際は、受講者同士での意見交換や、受講者自らの考え発表するなど、アクティブラーニング形式を適宜取り入れます。				
授業内容				
前半				
第1回 医療を観察する社会学—医療社会学とは				
第2回 日本の医療制度について—医療供給システムの変遷				
後半				
第3回 トピック①—ジェンダーと医療				
第4回 トピック②—障害と医療				
第5回 トピック③—在宅医療				
第6回 まとめ—地域包括ケアシステムにおける医療と課題				
第7回 テスト				
* 取り上げるトピックについては、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価 : 試験 60 % ・ レポート 0 % ・ その他(授業への参加度:事前学習の取り組みや、議論への参加など) 40%				
再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
授業のなかで適宜予習・復習に必要な資料を提示します。				
教科書				
教科書は指定しません。授業に必要な文献・資料はその都度コピーして配布します。				
参考書				
・中川輝彦・黒田浩一郎「よくわかる医療社会学」(ミネルヴァ書房、2010年)				
・猪飼周平「病院の世紀の理論」(有斐閣、2010年)				
履修上の注意事項				
・出欠管理システムの記録と、教員による出欠調査(リアクションペーパーの提出)を併用します。 ・議論への積極的な参加を重視します。				

時間割番号	000802																																																																																																																					
科目名	人文社会科学講義(医療と法)	科目ID	LA-310202-Z																																																																																																																			
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]																																																																																																																					
開講時期	2021年度通年	対象年次	3																																																																																																																			
実務経験のある 教員による授業																																																																																																																						
<p>曜日・時間:木曜 3限(11時10分から12時まで)</p> <p>対象学科:医学部医学科・歯学部歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。</p> <p>1-4)異なる空間の文化を理解する。</p> <p>1-9)市民としての倫理観を養う。</p>																																																																																																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>いま日本の社会保障は重大な岐路に立っています。増大する医療費、年金制度への不安、労働環境の悪化、育児環境の不整備など様々な問題が指摘されています。また、財政赤字の増大も度々ニュースになっています。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大は日本の医療体制の問題点を浮き彫りにした、とも言われています。こうした問題への適切な処方箋とはいかなるものでしょうか。その答えを導き出すための知識をこの授業では提示したいと思います。具体的には、そもそも社会保障の目的や機能とはなにか、といった議論からはじめ、現在の日本の社会保障制度の概要を説明します。適宜、アメリカやドイツなど他国との比較的視点も盛り込みつつ、日本の抱える問題点についても考えます。</p>																																																																																																																						
<p>授業の到達目標</p> <p>①国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と、日本国憲法とのつながりを理解する。</p> <p>②各々の社会保障制度が抱えている問題を、財政や制度内の不平等など多角的側面から考察し、説明できるようになる。</p>																																																																																																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/22</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/6</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/13</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/20</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/27</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/3</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/10</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/17</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/24</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/1</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>15</td><td>9/2</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/30</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/7</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/14</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/28</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>20</td><td>11/4</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>21</td><td>11/11</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>22</td><td>11/18</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子	22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																		
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飛田 綾子, 木谷 真紀子																																																																																																																		
<p>授業方法</p>																																																																																																																						

<p>教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。ニュースで伝えられている話題を授業ではより詳しく、時に批判的に取り上げます。アクティブ・ラーニングとして、授業での知識を踏まえ、社会保障の存在意義や税金の負担への不信感の原因など、具体的問題を少人数で討論する機会を適宜実施する予定です。</p>
<p>授業内容</p> <p>第1回 社会保障制度の概要（憲法とのかかわり、社会保障の存在意義、海外との比較からみた日本の社会保障の達成度など）</p> <p>第2回 医療保険（制度の概要、強制加入の理由、財政状況など）</p> <p>第3回 年金保険（制度の概要、年金の世代間格差論について）</p> <p>第4回 社会福祉サービス（児童・障害者福祉の概要、児童虐待に関する医療者の義務など）</p> <p>第5回 公的扶助（生活保護の受給資格、給付内容、不正受給者対策の問題点など）／日本の社会保障の構造改革について</p> <p>第6回 子ども・子育て支援／労働保険（雇用保険と労働災害保険の内容、日本の労働環境の抱える問題点など）</p> <p>第7回 テスト</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 55 % ・ レポート 0% ・ その他（授業内容を踏まえた上でのリアクションペーパー） 45%</p> <p>再評価：有（再評価方法 レポート）</p> <p>知識の確実な修得、及び課題を説得力を持って論じているかを重視する。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>社会保障に関するニュースは、財源調達のための消費税率の引き上げや海外の医療従事者によるデモ行進など、日々様々に伝えられています。そうしたニュースに敏感になり、授業内容と関連付ける癖をつけてください。これが予習復習となります。こうしたニュースに関しては、リアクションペーパー等で簡単に記述してもらおうと考えています。レジュメを読み直すことも有用です。</p>
<p>教科書</p> <p>特に指定しません。</p>
<p>参考書</p> <p>権文善一『ちょっと気になる社会保障 V3』勁草書房、2020年。</p> <p>同『ちょっと気になる医療と介護 増補版』勁草書房、2018年。</p> <p>井出英策『日本財政 転換の指針』岩波新書、2013年。</p> <p>神野直彦『「人間国家」への改革 参加保障型の福祉社会をつくる』NHK出版、2015年。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。（小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。） ③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。 ④遅刻3回で欠席1回とカウントします。</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>キーワード: 社会保障、日本国憲法、生存権、税、財政</p>

時間割番号	000803																																																																																																																					
科目名	主題別人文社会科学セミナー(文化と人間)	科目ID	LA-310203-Z																																																																																																																			
担当教員	相馬 保夫[SOUMA Yasuo]																																																																																																																					
開講時期	2021年度通年	対象年次	3																																																																																																																			
実務経験のある 教員による授業																																																																																																																						
<p>曜日・時間:木曜3限</p> <p>受講資格:「文化と人間」選択者</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p>																																																																																																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本セミナーでは、人間の社会と文化を学術的観点から考察する場合の方法について、さまざまな視点からとりあげます。問いと仮説を立てそれを資料に基づいて実証するという論文の基本構成は、学問分野を問わず、共通していますが、人間の社会と文化を学術的に考察するためには、それなりの方法論が求められます。人間の文化的営みについてさまざまな資料を用いながら、自分なりの筋道を立てていく作業は、最初は辛くしんどいかもしれませんが、それを突き抜けた時に味わう感動はまたひとしおです。</p>																																																																																																																						
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の文化に関わる方法的思考の面白さを味わう。 2. 筋道のたったプレゼンテーションの技術を習得する。 3. 問いを立て、それを実証し、結論を導き出すという論文の技術を身につける。 																																																																																																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/22</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/6</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/13</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/20</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/27</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/3</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/10</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/17</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/24</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/1</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>9/2</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/30</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/7</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/14</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/28</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>20</td><td>11/4</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>21</td><td>11/11</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> <tr><td>22</td><td>11/18</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>相馬 保夫</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫	22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																		
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		
22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫																																																																																																																		

23	11/25	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
24	12/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
25	12/9	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
26	12/16	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
27	12/23	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
28	1/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
29	1/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
30	1/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	相馬 保夫
授業方法				
授業はセミナー方式で行います。受講者は、セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告することを求められます。授業ではそれを基に議論し、人間の文化的営みを探る考察法について考えます。課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を取り入れます。				
授業内容				
第1回 オリエンテーション				
第2回 論文のまとめ方について				
第3～7回 セミナー論文の構想について各自の発表、議論と考察				
成績評価の方法				
評価： セミナー論文 70% ・ その他(課題への取り組み, 議論への参加度など) 30% セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視する。				
再評価： 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
受講者は、セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告することを求められます。授業ではそれを基に議論し、人間の文化的営みを探る考察法について考えます。各自は報告の後にそこでのコメントを参考にさまざまな資料に基づいて考察を進め、セミナー論文の構想と執筆にとりかかります。				
教科書				
とくになし。				
参考書				
本多勝一『<新版>日本語の作文技術』(朝日文庫, 2015)				
その他、参考書などは各テーマに応じて授業中に随時紹介します。				
履修上の注意事項				
出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用します。				
備考				
セミナー論文の提出資格:				
原則的として初回オリエンテーションに出席した上で、年間授業のそれぞれについて3分の2以上の出席をすること。				
連絡先(メールアドレス)				
y.soma.las@tmd.ac.jp				

時間割番号	000804																																																																																												
科目名	主題別人文社会科学セミナー(生命と人間)	科目ID	LA-310204-Z																																																																																										
担当教員																																																																																													
開講時期	2021年度通年	対象年次	3																																																																																										
実務経験のある 教員による授業																																																																																													
<p>曜日・時間：木曜 3限 対象学科：医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-9)市民としての倫理観を養う 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p>																																																																																													
<p>授業の目的、概要等 生命倫理学とは、生命にかかわる倫理的問題を研究対象とする学際的な学問です。生命のはじまりに関わる問題(人工妊娠中絶、遺伝子操作、生殖補助医療など)、生命のおわりに関わる問題(脳死臓器移植、安楽死など)、よりよく人生を生きることに関わる問題(エンハンスメントなど)といったものが生命倫理の問題としてよく注目されますが、それだけではなく、医療資源配分などの公衆衛生に関わる倫理的問題や、研究参加者保護などの医学研究に関わる倫理的問題なども含みます。この授業では、生命倫理に関するテーマを一つ選び、問いを立て、論文を執筆してもらいます。資料を調査し、根拠に基づいて議論を組み立て、ディスカッションを通して議論を洗練させていくという作業を通して、生命倫理の問題について知見を深めてもらいたいと考えています。</p>																																																																																													
<p>授業の到達目標 (1)「生命と人間」をめぐる諸問題について主な論点を理解し、それらを批判的に検討しながら自分なりの見方を確立する (2)自分で問いを立て、資料を調査し、根拠に基づいて自分の主張を論証していく能力を養う (3)他者と建設的な議論ができるようになる</p>																																																																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/22</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/6</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/13</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/20</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/27</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/3</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/10</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/17</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/24</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/1</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>15</td><td>9/2</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/30</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/7</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>木谷 真紀子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)		2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子	17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																									
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)																																																																																										
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子																																																																																									

18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
23	11/25	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
24	12/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
25	12/9	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
26	12/16	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
27	12/23	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
28	1/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
29	1/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
30	1/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子

授業方法

授業はセミナー方式で実施し、受講者による報告・議論を中心に進めていきます。

受講者には、1人1回はセミナー論文で取り上げたいテーマについて報告すること、他の受講者の報告に対して積極的に応答(質問・コメント)することが求められます。

授業内容

第1回:オリエンテーション

第2~6回:セミナー論文についての報告と議論

第7回:論文のまとめ方について

成績評価の方法

評価:レポート(セミナー論文)60%

その他(授業への参加度)40%(議論への参加、課題への取り組み)

再評価:有(再評価方法:レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者には、1人1回セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告してもらいます。各自、資料を調査し、授業で報告する準備をすすめてください。報告後は、授業中の議論を参考に調査・考察を進め、セミナー論文の執筆に取り組んでください。

教科書

教科書は特に指定しません。必要な文献・資料はコピーして配布します。

参考書

参考書等は授業中に紹介します。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用します。

時間割番号	000805			
科目名	主題別人文社会科学セミナー(言語と人間)	科目 ID	LA-310205-Z	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>私たちが日常的に用いる言語は、言語以上のものを表現することが多い。本授業では、「言語」そのものの役割について、さらに私たちの多くが継承語とする日本語について、考えることから始めたい。</p> <p>次に、実際に「言語と人間」というテーマで論文を書くためには、どのような調査方法やデータの収集方法があるかを説明し、自らのテーマに沿った方法を考える。</p> <p>論文執筆のための調査、考察、分析、実際の執筆を通し、「言語で」「文字」として表現することに肉薄することを目標とする。</p>				
授業の到達目標				
<p>(1)「言語」について考える。</p> <p>(2)自らで問題を設定し、考察、分析したうえで結論を出す能力を養う。</p> <p>(3)人文社会分野の論文を書くさまざまな方法を知る。</p> <p>(4)論理的な文章を書く力を身につける。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
23	11/25	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
24	12/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
25	12/9	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
26	12/16	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
27	12/23	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子

28	1/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
29	1/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
30	1/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	木谷 真紀子
授業方法				
講義、全体での討論、数人のグループでの討論、個別指導を適宜組み合わせる。課題に基づき、また提出を前提にして授業を行うため、課題は期限を守って提出すること。				
授業内容				
1) 全体オリエンテーション				
【個別セミナー】				
2) オリエンテーション: 論文とは何か				
3) テーマ初回提出、文献調査の方法				
4) アンケート、インタビューなどの調査方法の説明				
5) アウトライン提出、グループ内発表と意見交換				
6) アウトライン返却、指導				
7) 中間発表①				
8) 中間発表②				
【総括セミナー】				
9) オリエンテーション				
10) 中間発表をふまえて				
11) グループごと意見交換				
12) アウトライン 2 回目提出、引用の方法について				
13) パラグラフ・ライティング①				
14) パラグラフ・ライティング②				
15) 自己評価				
16) 一年の総括				
なお、各回の授業内容は、受講者の学習状況に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法				
レポート(セミナー論文) 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、課題への取り組みなど)) 40%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
ほぼ毎週課題を出す。自分のテーマに関して各週の課題に取り組むだけでなく、クラスメイトのテーマや課題についても意見アドバイスを述べられるようにする。				
なお、欠席した場合には、その回のプリントやスライドを次週までによく読んでおくこと。				
試験の受験資格				
3 分の 2 以上の授業に出席していること。				
遅刻、欠席は、0. 5 回分の欠席としてカウントする。				
教科書				
授業内で指示、必要な場合は配布。				
参考書				
大学生のための文章表現練習帳(第 2 版) / 坂東実子: 国書刊行会, 2021				
授業内で指示、必要な場合は配布。				
備考				
出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。				
連絡先(メールアドレス)				
makiko.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
月、金曜 12:20~13:30 管理研究棟 2 階				
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。				

時間割番号	000806																																																																																																																
科目名	主題別人文社会科学セミナー(制度と人間)	科目ID	LA-310206-Z																																																																																																														
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]																																																																																																																
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3																																																																																																														
実務経験のある 教員による授業																																																																																																																	
<p>曜日・時間:木曜3限(11時10分～12時)</p> <p>対象学科:医学科、歯学科</p> <p>受講資格:主題「制度と人間」コースであること。</p> <p>募集人数:35人程度</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2, 1-3, 1-5, 1-9, 3-5</p>																																																																																																																	
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちは日ごろ、政治的・社会的な諸制度との関わりの中で生活している。最初は〈人間が制度をつくる〉のだが、ひとたび制度ができあがると、今度は制度が人間に影響を及ぼして、いわば〈制度が人間をつくる〉ようになる。もしその制度に“問題”があるなら、人間はおかしくなってしまうだろう。</p> <p>この授業では、そのような“問題”を自ら発見し、関連する先行研究(文献や資料)を読み、自分自身の考えによる“応答”を、論文にまとめていく。論文には求められる書き方があり、ということは、読み方がある。どのように書いたらよいか、どのような文献や資料を調べたらよいか、といったことをアドバイスするので、この授業を通じて、論文のよい書き方と読み方を身につけてほしい。</p>																																																																																																																	
<p>授業の到達目標</p> <p>1「制度と人間」に関わる問題を自ら発見する。</p> <p>2 自ら設定した論文のテーマに関連する文献や資料を調べ、それらを批判的に考察する能力を養う。</p> <p>3 以上の成果をセミナー論文にまとめ、論文の書き方と読み方を身につける。</p>																																																																																																																	
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/22</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/6</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/13</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/20</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/27</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/3</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/10</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/17</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/24</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/1</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/8</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/15</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>15</td><td>9/2</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/30</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/7</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/14</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/28</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>20</td><td>11/4</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>21</td><td>11/11</td><td>11:10-12:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>面 一也, 木谷 真紀子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子	21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																													
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子																																																																																																													

22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
23	11/25	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
24	12/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
25	12/9	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
26	12/16	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
27	12/23	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
28	1/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
29	1/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
30	1/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	面 一也, 木谷 真紀子
授業方法				
セミナー形式で行なう。受講者は1人につき2回(個別セミナーと総括セミナーで1回ずつ)、セミナー論文の構想について報告が求められる。授業ではそれをもとに議論をするとともに、参考文献や構成等のアドバイスをを行なう。				
授業内容				
第 1 回 イントロダクション:論文の基本的な書き方を中心に				
第 2-7 回 セミナー論文の構想について報告、議論、アドバイス				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(議論への参加、リアクション・ペーパー)40%				
再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
受講者は1人につき2回、セミナー論文の構想について報告が求められる。論文の草稿に相当するので、論理的に一貫性のある報告となるように準備すること。				
また、他の受講者の報告についても、議論への参加やリアクション・ペーパーによって、積極的な応答が求められる。どのようにすれば論文がよりよくなるか、という提案をお互に行なうことを通じて、論文の質を高めるようにしてほしい。				
試験の受験資格				
3分の2(6回)以上の欠席で、論文を提出する資格を失う。				
教科書				
教科書は用いず、必要に応じて文献や資料を配布する。				
参考書				
授業内で適宜指示する。				
履修上の注意事項				
出欠については、教員自身が取れる出欠を優先させる。				

時間割番号	000807			
科目名	主題別人文社会科学セミナー(時間と人間)	科目ID	LA-310207-Z	
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間： 木曜 3 限 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p>				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本セミナーでは、時間の観点から人間あるいは人間の生死の問題について考察します。それは、私たちの経験がどのように可能であり、どのように不可能であるのかということ考察することでもあります。ただし、時間の存在を自明視したまま人間について中心的に考察するだけでは不十分です。たとえば時間を「t」で表し、空間上の軌跡として捉えれば(時間の空間化)事足りるといったわけではありません。むしろここで問題にしたい時間とは、「t」で表したり微分操作をしたりする以前の時間と言えるでしょう。また、人間の意識や行為から独立して時間が存在すると想定したうえで、そのように実体化された時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方のみを考察することも同様に不十分でしょう。時間の実在を認める立場には、時間に関する常識的見方だけでなく、キリスト教における世界創造説、近代以降の自然科学的見方、そして人文・社会科学的見方もその大部分が含まれますが、むしろここで目的は、そうした見方を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。</p> <p>時間を実体として捉えるのでもなく、時間を主観的観念や意識に還元するのでもなく、時間と人間について考察しようとするならば、時間の量的な側面(物理的・客観的時間等)または時間の質的な側面(過去・現在・未来という様相、体験的・行為的時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなしてしまうのではなく、両者の相互反映的な関係を問うことが求められるでしょう。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化)の相関(天体の運動・時計等と人間の意識・行為等との相関)と捉えたうえで、両者を媒介するような意味というものに注目し、時間というもの、さまざまな文化・社会・歴史的状況に置かれた人間を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(たとえば関心・目的によって先取りされる未来とのかかわりが、「～するのに時間がない」「～までにまだ時間がある」という仕方で、時間に実質と意味を与える)、同時にこのような仕方で構成された時間を背景(前提)として、人間(の時間構成)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察しなければなりません。時間という概念は、そのうちに人間の意識や行為を含んでいると言ってもよいでしょう。この意味で、時間への問いとは自己への問いでもあり、その解明の作業は同時に自己反省の作業となるはずで</p>				
<p>授業の到達目標</p> <p>「○○とは何か」という問いは、その問い自体が○○についての一定の知識を前提しています。そしてこのような問い方は、とりわけ時間に関しては、十分に吟味しなければ正しい問いの立て方とは言えません。というのも、時間について問うたり語ったりすること自体が、時間を必要とするという事情があるだけでなく、「時間とは何か」という形式そのものが、時間についての一定の先入見(実体化)に基づいているために、その妥当性を吟味しなければ、この問いは問いとして正当かつ十分な資格を持ちえないからです。時間についての問い方が誤っているということは、時間にアプローチする基本的な姿勢が誤っていることにほかならないのです。このような事情を踏まえて本セミナーでは、まずは文献講読とディスカッションを通して、時間を自明視しない姿勢を身につけること。そして変化や運動、継起の順序、同時性、持続や流れ、過去・現在・未来、連続性といった時間に関する基本的な諸概念を理解し、時間と人間について考察できるようになること。そのうえで、各自の興味・関心にしがって執筆する「セミナー論文」において、(テーマが生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、文学的時間であれ、芸術的時間であれ・・・)正しく問いを設定し、一定の結論を導くことができるようになること。以上のことを到達目標とします。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子

2	4/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
3	4/22	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
4	5/6	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
5	5/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
6	5/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
7	5/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
8	6/3	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
9	6/10	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
10	6/17	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
11	6/24	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
12	7/1	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
13	7/8	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
14	7/15	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
15	9/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
16	9/30	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
17	10/7	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
18	10/14	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
19	10/28	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
20	11/4	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
21	11/11	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
22	11/18	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
23	11/25	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
24	12/2	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
25	12/9	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
26	12/16	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
27	12/23	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
28	1/13	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
29	1/20	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子
30	1/27	11:10-12:00	遠隔授業(同期型)	飯田 卓, 木谷 真紀子

授業方法

演習形式、アクティブラーニング

授業内容

授業は演習形式で進めてゆきますので、各回とも受講者各自による発表・質問・ディスカッションが中心となります。前半(グループ別)では、受講者の興味・関心に沿って比較的平易な時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には受講者のあいだで分担(発表・質問担当)を決め、発表担当者には PowerPoint を用いて内容の要約と問題提起を行っていただきます。そして発表された内容をもとにディスカッションを行うという仕方で行ってゆきます。後半(総括セミナー)では、各自の興味・関心にしたがって研究した成果を発表していただきます。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ セミナー論文 70% ・ その他(授業への参加度) 30%

再評価: 有(セミナー論文再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

試験の受験資格

教科書

とくに必要ありません。

参考までに、これまでのセミナーで用いた文献(論文集)を一部挙げておきます。

広中平祐・井上慎一・金子務[編]『時間と時——今日を豊かにするために』日本学会事務センター学会出版センター(2002年)、
村上陽一郎[編]『東京大学教養講座 3 時間と人間』東京大学出版会(1981年)、
向坊隆ほか『東京大学公開講座 時間』東京大学出版会(1980年)、
伏見康治・柳瀬睦男[編]『時間とは何か』中央公論社(1974年)、
渡辺慧・渡辺ドロテア『時間と人間』中央公論社(1979年)、
田山忠行[編]『時を編む人間——人文科学の時間論』北海道大学出版会(2015年)、
井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉[編]『岩波講座 現代社会学 6 時間と空間の社会学』岩波書店(1996年)、
田島節夫・坂本賢三・市川浩・坂部恵・村上陽一郎[編]『講座現代の哲学 1 時間・空間』弘文堂(1977年)、
大森荘蔵・滝浦静雄・中村雄二郎・藤沢令夫[編]『新岩波講座哲学 7 トポス 空間 時間』岩波書店(1985年)、
小安増生・白井利明[編]『発達科学ハンドブック 3 時間と人間』新曜社(2011年)、
橋本毅彦・栗山茂久[編]『遅刻の誕生——近代日本における時間意識の形成』三元社(2001年)、
「別冊・数理科学 時間論の諸パラダイム」サイエンス社(2004年)等

参考書

教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。

アリストテレス『アリストテレス全集 3 自然学』岩波書店(1987年)、
H.ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫(2002年)、
E.フッサール『内的時間意識の現象学』みすず書房(1970年)、
M.ハイデガー『存在と時間』岩波文庫(2013年)、
E.ミンコフスキー『生きられる時間——現象学的・精神病理学的研究』みすず書房(1972年)、
E.マツハ『時間と空間』法政大学出版局(2008年)、
P.ホーウィッチ『時間に向きはあるか』丸善(1992年)、
R.モリス『時間の矢』地人選書(1987年)、
B.リベット『マインド・タイム——脳と意識の時間』岩波書店(2005年)、
P.J.ズワルト『時間について』紀伊國屋書店(1980年)、
G.J.ウィットロウ『時間 その性質』法政大学出版局(1993年)、
J.メイザー『ゼノンのパラドックス——時間と空間をめぐる 2500年の謎』白揚社(2009年)、
R.ペドヴィン『時間と空間をめぐる 12の謎』岩波書店(2012年)、
B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997年)、
渡辺慧『時』河出書房新社(2012年)、
大森荘蔵『時間と自我』青土社(1992年)、
滝浦静雄『時間』岩波新書(1976年)、
植村恒一郎『時間の本性』勁草書房(2002年)、
入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書(2002年)、
中島義道『「時間」を哲学する』講談社現代新書(1996年)、
青山拓央『タイムトラベルの哲学』ちくま文庫(2011年)、
野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫(2005年)、
真木悠介『時間の比較社会学』岩波現代文庫(2003年)、
今村仁司『近代性の構造——「企て」から「試み」へ』講談社選書メチエ(1994年)、
木村敏『時間と自己』中公新書(1982年)、
広井良典『生命と時間——科学・医療・文化の接点』勁草書房(1994年)、
本川達雄『ゾウの時間 ネズミの時間』中公新書(1992年)、
森田邦久編著『〈現在〉という謎——時間の空間化批判』勁草書房(2019年)、
森田邦久『時間という謎』春秋社(2020年)、
A.ハート=デイヴィス『時間の図鑑』悠書館(2012年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

〔平成16年4月1日〕
規則第217号

（趣旨）

第1条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目の編成）

第2条 全学共通科目における授業科目は、次の4系をもって編成する。

自由教育講義系
自由教育実習系
自由教育セミナー系
基礎教育系

（授業科目及び単位数）

第3条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（1単位当たりの授業時間）

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実験及び実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

（履修届）

第5条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

（定期試験）

第6条 履修した授業科目については、試験を行う。

2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

3 第1項の試験については、別に定める。

4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

（学習の評価）

第7条 履修した授業科目の成績については、別表2により学習の評価を行う。

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項に該当する授業科目のうち、第1項により難しい場合の学習の評価は、別表3により行う。

3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

（再履修）

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 別表1(4)に定める単位をすべて修得しなければ、卒業することはできない。
- 5 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 6 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 7 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。
- 8 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 9 第7項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、教養部長が再審議の必要性があると判断したときは、教養部長は、教務委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成21年3月19日規則第11号)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月30日規則第40号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1、別表2及び別表3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第14号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年2月25日規則第3号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月4日規則第12号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第72号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成29年3月31日規則第53号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年5月1日規則第31号）

この規則は、平成30年5月1日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和元年10月23日規則第 号）

この規則は、令和元年10月23日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和2年 3月31日規則第138号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表 1
(1)第 1 学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数					備 考	
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻		口腔保 健工学 専攻
自由教育講義系	人文科学・社会科学	哲学Ⅰ						選 択 科 目 1 科 目 2 単 位	
		哲学Ⅱ							
		倫理学Ⅰ							
		倫理学Ⅱ							
		心理学Ⅰ							
		心理学Ⅱ							
		宗教学Ⅰ							
		宗教学Ⅱ							
		芸術Ⅰ							
		芸術Ⅱ							
		歴史学AⅠ							
		歴史学AⅡ							
		歴史学BⅠ							
		歴史学BⅡ							
		民俗学Ⅰ							
		民俗学Ⅱ							
		科学史Ⅰ							
		科学史Ⅱ							
		文学AⅠ	8	8	8	8	8		
		文学AⅡ							
		文学BⅠ							
		文学BⅡ							
		法学Ⅰ							
		法学Ⅱ							
		政治学Ⅰ							
		政治学Ⅱ							
		経済学Ⅰ							
		経済学Ⅱ							
		社会学AⅠ							
		社会学AⅡ							
社会学BⅠ									
社会学BⅡ									
社会心理学Ⅰ									
社会心理学Ⅱ									
社会思想史Ⅰ									
社会思想史Ⅱ									
文化人類学Ⅰ									
文化人類学Ⅱ									

		Japanese Culture and Society I							
		Japanese Culture and Society II							
		グローバル教養科目(注1)							
		人文社会科学特論(注1)							
	自然科学	物理学入門	1 (注2)		1 (注2)	1 (注2)		選択科目	
		生物学入門							
		化学入門							
		数学Ⅰ	1		1	1		必修科目	
		物理学Ⅰ	1		1	1			
		数学Ⅱ	1 (注3)			1 (注3)		医学科・歯学科は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。	
		物理学Ⅱ			1				
		統計学		1	1		1	必修科目	
		化学	2		2	2			
		化学基礎		1			1		1
		生物学	2		2	2			
		細胞生物学基礎		1			1		1
		人体の生物学基礎		1			1		1
自由教育実習系	外国語	英語	4	4	4	4	4	4	必修科目
		日本語(注4)							選択科目
		ドイツ語							
		フランス語	4	4	4	4	4	4	1科目 4単位
		中国語							
		スペイン語							
	自然科学	物理学実験	1			1			必修科目
		化学実験	1			1			
		生物学実験	1			1			
サイエンスPBL入門		1			1				

		科学基礎実験		1 (注5)	1		1 (注5)	1 (注5)	看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。
		科学基礎演習							
		情報科学		1	1		1	1	必修科目
		情報処理	1			1			
	保健体育	スポーツ・健康科学	1	1	1	1	1	1	必修科目
		フィットネスマネジメント	1	1	1	1	1	1	必修科目
自由教育セミナー系	共通領域	共通領域セミナー科目	2	1	1	2	1	1	必修科目(具体的な科目名は、全学共通科目教育要項に定める。)
基礎教育系	共通領域	教養総合講座	1	1	1	1	1	1	必修科目
第1学年 小計			34	26	31	34	26	26	

(注)

- 1 詳細は、全学共通科目教育要項に定める。
- 2 医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから1科目(1単位)を選択する。
- 3 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生については数学Ⅱ、物理学Ⅱのうちから1科目(1単位)を選択する。
- 4 外国人留学生のみ履修できる。
- 5 保健衛生学科看護学専攻及び口腔保健学科の学生については科学基礎実験又は科学基礎演習のいずれか1科目(1単位)を選択する。